

令和5年度 文部科学省委託  
がん教育等外部講師連携支援事業



# 令和5年度 埼玉県「がん教育総合支援事業」 実施報告書



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和6年2月

埼玉県教育委員会

## はじめに

児童生徒の学校生活にも大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月に感染症法上の位置付けが5類に移行し、コロナ禍前の様々な教育活動が戻ってきています。しかし、その一方で、令和5年11月には、埼玉県では5シーズンぶりにインフルエンザの流行警報が発令されるなど、依然として感染症に対する対策が必要な状況は続いております。各学校においては、持続的に児童生徒の学びを保障するため、基本的な感染症対策を継続しながら、教育活動を実施していただいていることと推察いたします。

社会状況の急激な変化は、こうした感染症以外にも、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、アレルギー疾患の増加、性に関連する諸課題など、児童生徒等の心身に影響を与える様々な健康課題を生じさせています。このような健康課題の解決を図るためにも、学校における健康教育は、重要な役割を担っています。

その健康教育の一環として、学校ではがん教育が実施されています。がん教育は、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、ともに生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育です。学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校においては、新たにがんについても取り扱うことが明記されたことにより、現行の学習指導要領に対応したがん教育の普及・啓発が必要となっています。

また、学校教育を通じて、児童生徒が、がんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにするとともに、がん専門医をはじめとする医療従事者やがん経験者等の外部講師と連携した取組を実施することで、学校におけるがん教育をさらに効果的に進めることができます。

このような中、埼玉県教育委員会では平成27年度から、文部科学省の委託事業を受け、「がん教育総合支援事業」を実施しております。

具体的な取組としては、学識経験者、がん専門医、がん経験者を含めた「がん教育推進連絡協議会」を立ち上げ、本県のがん教育の推進に向けた指導・助言をいただきながら、教職員や外部講師関係者を対象とした「がん教育指導者研修会」や小学校・中学校・高等学校のモデル校における「がん教育授業研究会」を開催しています。

本報告書は、「がん教育総合支援事業」における令和5年度の取組の概要や成果等についてまとめております。すべての学校において、掲載しております指導実践例等を活用していただき、教職員の共通理解の下、家庭や地域の専門機関等と連携を図りながら、さらなるがん教育の充実が図られることを期待しております。

結びに、本事業の円滑な推進に御尽力いただきました、各関係機関、団体の皆様、さらには授業を御提供くださいました熊谷市教育委員会、熊谷市立太田小学校、越生町教育委員会、越生町立越生中学校、県立吹上秋桜高等学校の皆様に深く感謝申し上げます、御礼とさせていただきます。

令和6年2月

埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長  
松中 直司

# 目 次

I	令和5年度 埼玉県「がん教育総合支援事業」	
1	趣旨	1
2	事業内容	1
3	実施内容	1
4	他部局との連携	3
5	医療機関との連携	4
6	事業の成果	4
7	課題（今後の方向性を含む）	5
8	令和6年度の事業予定について	6
II	令和5年度 埼玉県がん教育指導者研修会	8
III	令和5年度 埼玉県「がん教育」授業研究会	31
1	熊谷市立太田小学校	32
2	越生町立越生中学校	57
3	県立吹上秋桜高等学校	71
IV	令和5年度 埼玉県がん教育推進連絡協議会	
1	がん教育推進連絡協議会設置要綱	83
2	令和5年度埼玉県がん教育推進計画	85
3	がん教育推進連絡協議会委員名簿	86

# I 令和5年度 埼玉県「がん教育総合支援事業」について

## 1 趣 旨

平成28年12月に改正されたがん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、国民が、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」というがんに関する教育の推進についての文言が新たに記載された。また、政府が策定するがん対策推進基本計画では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」ことを目標としている。さらに、学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校の保健体育科において、がんについても取り扱うこととされた。

このような状況を踏まえ、新学習指導要領に対応したがん教育の確実な実施に向けた取組の充実及び外部講師の活用を図るための体制を整備していく必要がある。

そこで、本県では、学校におけるがん教育の推進を図るため、文部科学省委託「がん教育等外部講師連携支援事業」を実施する。

本事業の実施により、子供たちが健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成するとともに、がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識の深化を図る。

## 2 事業内容

- (1) がん教育推進連絡協議会の開催
- (2) がん教育指導者研修会の開催
- (3) がん教育授業研究会の開催

## 3 実施内容

- (1) 連絡協議会について（年2回開催）

がん教育の推進を図るため、学識経験者や医療関係者等で構成される「がん教育推進連絡協議会」を設置し、「がん教育推進計画」の作成等に対し指導・助言を行うとともに、事業成果の検証を行う。

ア 第1回協議会（がん教育推進計画の検討・決定）

日時 令和5年7月11日（火）午後2時30分～ 知事公館

- 「がん教育推進連絡協議会」について
- 「がん教育指導者研修会」について
- 「がん教育授業研究会」について
- 外部講師の活用について

イ 第2回協議会（がん教育推進計画の事業報告・成果の検証）

日時 令和6年1月12日（金）午後2時00分～ 県民健康センター

- 「がん教育指導者研修会」について
- 「がん教育授業研究会」について
- 成果の検証

※ がん教育推進連絡協議会に報告された実施結果を冊子にまとめ、県内の市町村教育委員会、県立学校等へ配布



## (2) がん教育指導者研修会について

教職員及び外部講師等を対象に、がんの正しい知識や理解を図ること及び指導方法等を充実させることを目的として「がん教育指導者研修会」を開催する。がん教育を実施する上での留意事項等の行政説明、実践者による発表、有識者による講演、質疑等を通して、教職員及び外部講師等の資質向上を図る。

ア 日時 令和5年8月23日(水) 午後1時15分～午後4時30分  
イ 方法 Zoomによるオンライン開催  
ウ 対象 県内公立小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校の教職員、市町村教育委員会指導主事、外部講師関係者

### エ 内容

(ア) 行政説明 県教育局県立学校部保健体育課、埼玉県立久喜図書館

(イ) 実践発表 令和4年度モデル校

小学校実践校 羽生市立新郷第一小学校 工藤 隆太 教諭

中学校実践校 小鹿野町立小鹿野中学校 笠原 勇人 教諭

高等学校実践校 県立松山女子高等学校 大久保亜耶 教諭

(ウ) 講演 「学校におけるがん教育の推進 ～学習指導要領の考え方を踏まえて～」

講師 横浜国立大学教育学部 学校教員養成課程 保健体育

教授 物部 博文 氏

## (3) がん教育授業研究会について

小学校、中学校及び高等学校において、授業公開による授業モデルの普及及び研究協議における効果的な指導方法についての検討を目的とした「がん教育授業研究会」を開催する。

内容の取扱いについては、各学校種の発達の段階に応じたものとし、中学校及び高等学校においては、新学習指導要領(保健体育科)に対応したものとする。

※指導内容

- ア がんとは、がんの要因
- イ がんの種類とその経過
- ウ 我が国のがんの状況
- エ がんの予防
- オ がんの早期発見・がん検診
- カ がんの治療法
- キ がん治療における緩和ケア
- ク がん患者の生活の質
- ケ がん患者への理解と共生

※研究協議テーマ 「がん教育の充実を図るための工夫について」

### ア 小学校授業研究会

(ア) 日時 令和5年11月16日(木)

(イ) 参加者 県内公立小・中学校教職員等

(ウ) 会場 熊谷市立太田小学校

(エ) 授業者 八木 孝大 教諭

(オ) 題材 特別活動「健康な生活とかけがえのない命」  
学級活動(2) 日常生活や学習への適応と自己の成長  
及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

#### イ 中学校授業研究会

- (ア) 日 時 令和5年11月1日(水)  
(イ) 参加者 県内公立小中学校教職員  
埼玉県がん教育外部講師登録関係者等  
(ウ) 会 場 越生町立越生中学校  
(エ) 授業者 高橋 寿弥 教諭  
(オ) 単 元 保健体育科(保健分野)  
(1) 健康な生活と疾病の予防  
(ウ) 生活習慣病などの予防

#### ウ 高等学校授業研究会

- (ア) 日 時 令和5年10月27日(金)  
(イ) 参加者 県内公立高等学校、特別支援学校教職員等  
(ウ) 会 場 県立吹上秋桜高等学校  
(エ) 授業者 藤井 将貴 教諭  
(オ) 単 元 保健体育科(科目保健)  
(3) 生涯を通じる健康  
(ア) 生涯の各段階における健康

#### (4) 効果的な指導方法の実践研究

- 発達の段階に応じたがんに関する効果的な指導を行うための指導方法の実践研究  
・「がん教育」における小・中・高の系統的な保健教育の実践研究を行う。

##### 【構造化された授業の提案】

- ・学習内容の明確化(1時間に何を学ばせるのか、何を学んだのかが明らかな授業)
- ・基本的・基礎的な内容を理解させるための学習活動の工夫
- ・主体的に学習に取り組ませるための教材の工夫

## 4 他部局との連携

保健医療部疾病対策課と連携を図り、外部講師の積極的な活用へ向けた取組を行う。

- (1) がん教育における外部講師の活用に係る事業(がん教育外部講師派遣事業)の学校への周知等を行い、外部講師の活用を促進する。  
(2) がん教育外部講師研修会を開催し、外部講師等の資質向上を図る。(予定)

- ア 日 時 令和6年2月9日(金)午後6時00分～午後8時00分まで  
イ 開催方法 オンライン開催(Zoom)  
ウ 参加者 学校においてがん教育の実施を検討している医師等の医療従事者やがん経験者等

#### エ 内 容

- (ア) 行政説明 県保健医療部疾病対策課  
(イ) 講義① 「学習指導要領に基づく学校におけるがん教育  
～がん教育の位置付け及び授業時の留意事項～」  
講師 県教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上三四郎  
(ウ) 講義② 「外部講師による学校におけるがん教育について」  
講師 埼玉医科大学総合医療センター 教授 儀賀 理暁 氏  
リレー・フォー・ライフ・ジャパンさいたま実行委員会  
副実行委員長 藤野 信子 氏

## 5 医療機関との連携

埼玉医科大学総合医療センター主催「SMCがん教育セミナー」の後援

(1) 日 時 令和6年2月29日(木)午後3時00分～午後4時30分

(2) 場 所 Zoomによるオンライン開催

(3) 内 容

- ア 小学校の授業解説 熊谷市教育委員会 教育総務課  
指導主事兼保健給食係長 関谷 淳 氏
- イ 外部講師による授業解説 埼玉医科大学国際医療センター  
婦人科腫瘍科 准教授 黒崎 亮 氏
- ウ 「がん教育」の課題と対応策について(質疑応答など)  
埼玉医科大学総合医療センター  
緩和医療科・呼吸器外科 教授 儀賀 理暁 氏  
埼玉県教育局県立学校部保健体育課  
埼玉県疾病対策課

## 6 事業の成果

学校におけるがん教育の推進を図るためには、新学習指導要領に対応したがん教育の確実な実施に向けた取組の充実及び外部講師の活用を図るための体制の整備などが必要であることから、学識経験者や医療関係者等を含めた「がん教育推進連絡協議会」を設置し、「がん教育推進計画」の作成等に対し指導・助言をいただいた。策定した計画に基づく各種の取組を実施することにより、学校における効果的ながん教育の在り方などについて、県内への啓発を図ることができた。

(1) 「がん教育」指導者研修会

- ア がん教育に携わる教職員及び外部講師等を対象に、がんの正しい知識や理解を深めること、及び学校におけるがん教育の指導の充実を図るための研修会を実施したことにより、がん教育の必要性の理解が進むとともに、実践事例や指導教材等の普及啓発ができた。
- イ 行政説明において、学校におけるがん教育の定義や目標、及び外部講師と連携したがん教育の在り方や、配慮事項等について改めて確認するなど、学校におけるがん教育の方向性を示すことができた。また、県立久喜図書館から、図書館を活用したがん情報の入手方法について案内するなど有意義な情報を提供した。
- ウ 実践発表において、昨年度のモデル校の授業者から、がん教育を通じて目指す子供の姿、授業づくりに向けた思い、実践までに生じた葛藤など、具体的な話を通じて、効果的な指導について普及啓発ができた。また、発達段階に応じた系統的な指導についての理解が進んだ。
- エ 横浜国立大学教授 物部 博文 氏による講演「学校におけるがん教育の推進 ～学習指導要領の考え方を踏まえて～」により、新学習指導要領に基づくがん教育をはじめとする保健教育の効果的な指導方法など授業づくりの考え方、進め方について理解を深めることができた。

(2) 授業研究会について

- ア 授業検討委員会では、発達の段階に応じた適切な指導、及び教科等横断的な取組、外部講師と連携した取組などについて検討を重ね、授業研究会では、主体的・対話

的で深い学びの視点による効果的な指導方法（学習活動）について、提案することができた。また、充実した研究協議を行うことができた。

イ 小・中・高のモデル校全てにおいて、がん専門医や地域の医療機関の医師、NPO法人などの外部講師と連携した指導を実施することにより、効果的ながん教育を実施することができた。

ウ 文部科学省作成の指導教材参考資料を活用した授業展開を検討し、普及・推進を図ることができた。

エ 小学校のモデル校では、体育科・道徳科・総合的な学習の時間、特別活動の教科等横断的な取組を実施した。公開授業では、特別活動の学級活動（2）において、「食事」と「食生活」の違いについて児童が理解し、がんを予防するための健康な食生活について考えることができた。また、NPO法人くまがやピンクリボンの会と連携した「いのちの授業」を実施したり、授業研究会の実施後に、がん専門医である儀賀医師（埼玉医科大学総合医療センター）による事後指導を実施したりするなど、外部講師を積極的に活用した研究を推進することができた。

オ 中学校のモデル校では、保健体育科保健分野において学習した既習事項を活用して、事前にグループワークでテーマごとに調べ学習を行い、公開授業当日には、お招きした黒崎医師（埼玉医科大学国際医療センター）から、生徒たちのグループワークの内容にも関連させた「いのちとがんのお話」の講義をしていただいた。

生徒たちからの質問も多くあり、生徒たちは、がんを予防するための望ましい生活習慣や検診の必要性、治療法等について理解を深めていた。また、外部講師が授業に参画している様子を観ることもでき、効果的な外部講師の活用方法について、研究協議でも様々な意見が交わされた。

カ 高等学校のモデル校では、保健体育科科目保健の授業を実施した。既習事項に加え、各班で調べた内容をプレゼンテーションソフトにまとめて、発表し合った。

各班の発表後には、授業者が既習事項の資料や文部科学省の教材資料等を活用して、補足したことで、深い学びにつなげていた。

また、授業研究会の実施後には、NPO法人くまがやピンクリボンの会代表理事の栗原氏等による事後指導を行ったことで、生徒たちのがんに関する関心をさらに高めることができた。

### (3) 外部機関・外部講師との連携について

ア 授業研究会に関連した指導として、小・中・高の全てのモデル校で外部講師と連携した取組を実施することができ、児童生徒の心に響く効果的ながん教育を推進することができた。

イ 保健医療部疾病対策課と連携した外部講師活用のための取組である「外部講師派遣事業」では、申込のあった県内小・中・高等学校に講師を派遣することができた。

ウ 医療機関との連携で、埼玉医科大学総合医療センター 教授 儀賀理暁氏が実施する「SMCがん教育セミナー」について、埼玉県教育委員会が後援し、開催できるよう調整を図っていく。

## 7 課題（今後の方向性を含む）

### (1) 各学校の教育課程への位置付けの明確化

ア がん教育について明記された学習指導要領は、令和3年度に中学校で全面実施、令和4年度から高等学校で年次進行実施されたことから、各学校種における学習指導要領に対応したがん教育の効果的な実施について引き続き周知していく。また、

学習指導要領に位置付けのない小学校についても、がんを題材とした保健教育を実施するよう周知していく。

イ がん教育の目標を達成するためには、保健の授業でがんに対する正しい知識を身に付け、関連教科等を通じて、健康と命の大切さ、がん患者への正しい理解について学習していくことが必要である。体育・保健体育の授業を中核に他の教育活動と連携した指導について、モデルとなる取組を継続して提案していくことが課題である。

ウ 小・中・高の系統性を踏まえた指導計画の作成を研究していく。

## (2) 外部講師の活用について

ア 各学校からの依頼を受け、県保健医療部疾病対策課と連携して講師の紹介を行うなど、外部講師を学校に派遣できる体制づくりを進めている。

今後は、外部講師リストの整理などを進め、各学校が直接がん診療連携拠点病院等と連携して、がん教育を推進していく体制への移行を進めていく。

イ 外部講師の育成や資質向上のため、学校教職員が多く参加する「がん教育指導者研修会」に外部講師関係者の参加も促していく。

ウ がん教育授業研究会のモデル校に、外部講師を積極的に活用した授業研究を促していく。

## (3) 研修会等の充実と普及・推進

ア 児童生徒にがんについての正しい知識を習得させるためにも、教職員ががん教育についての理解を深める必要がある。そのためにも指導者研修会を充実させ、養護教諭のみならず、保健体育科教諭等への研修会への積極的参加を呼びかけていく必要がある。参考となる学習指導案や指導教材などを情報提供し、どの学校でもがん教育を推進できる環境を整える必要がある。

イ 効果的ながん教育の手立ての一つとして、外部講師と連携した取組についての普及啓発も一層推進していく。

ウ 県内各学校でがん教育の取組を実践していくために、地区のバランスを考慮したモデル校の選定を行い、がん教育指導者研修会や授業研究会の場を活用し、普及・推進していく。

## 8 令和6年度の事業予定について

### (1) がん教育推進連絡協議会の実施 (継続)

ア 日 時

(ア) 第1回 協議会 令和6年7月 9日 (火) 知事公館大会議室 ※予定

(イ) 第2回 協議会 令和7年1月10日 (金) 知事公館大会議室 ※予定

イ 内 容

(ア) 本県のがん教育推進に向けた計画の検討

(イ) 本県のがん教育に関する計画の検証・成果報告

### (2) がん教育指導者研修会の実施 (継続)

がんに関する指導を行う教職員の資質向上を図るため、研修会を実施していく。

ア 日 時 令和6年8月23日 (金) オンライン開催 ※予定

イ 内 容

(ア) 行政説明

- (イ) 実践事例発表 (小学校) 熊谷市立太田小学校  
(中学校) 越生町立越生中学校  
(高等学校) 県立吹上秋桜高等学校  
(ウ) 講演 「学校におけるがん教育について」 (仮)

講師 未定

(3) がん教育授業研究会の実施 (継続)

ア 指導内容について

(ア) がんについて正しく理解することができるようにする。

- ・保健体育(保健教育)の充実を図る。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた保健教育の授業改善を図る。

(イ) 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

- ・特別活動・道徳・総合的な学習の時間等、学校教育全体を通じて指導を行う。

(ウ) 授業検討委員会を設置し、発達の段階を踏まえた指導すべき内容について、さらに検討を重ねるとともに、系統性を踏まえた指導計画を作成する。

イ モデル校について

モデル校の選定については、東西南北の地域のバランスを考慮していく。

【小学校】 所沢市立椿峰小学校

【中学校】 北本市立西中学校

【高等学校】 県立杉戸高等学校

(4) 外部講師を活用したがん教育の推進

ア 各学校からの依頼を受け、県保健医療部疾病対策課と連携して講師の紹介を行う。また、外部講師リストの整理などを進め、各学校が直接がん診療連携拠点病院等と連携して、がん教育を推進していく体制への移行を進めていく。

イ がん教育授業研究会において、小・中・高等学校の全ての校種で、公開授業を実施する。その際、外部講師による指導(事前・公開授業当日・事後のいずれか、または複数)を取り入れたモデル授業を実施する。

ウ 外部講師を活用したがん教育の質の向上を目的として、外部講師を活用した授業を見学してもらう事業を実施する。

(5) 関係機関との連携

県教育委員会と医療機関が連携した研修会を次年度も計画していく。

ア 文部科学省委託事業を受託し、引き続きがん教育の推進を図っていく。

イ がん教育推進連絡協議会は、今年度と同様2回開催し、本県のがん教育推進のための計画、方向性、普及の仕方を検討し、各委員から指導・助言をいただくことで推進を図っていく。なお、委員の人選については、各関係団体に依頼する。

## Ⅱ 令和5年度 埼玉県がん教育指導者研修会

### 文部科学省委託事業「がん教育等外部講師連携支援事業」

#### 令和5年度埼玉県がん教育指導者研修会開催要項（オンライン開催）

##### 1 趣 旨

日本人の死因の第1位であり国民の生命と健康にとって重大な問題であるがんについて、がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分であり課題であると指摘されている。

この課題の解決のためには、学校におけるがん教育により、子供たちが健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成するとともに、がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識の深化を図ることが必要である。

学校におけるがん教育の充実を図るため、その必要性を十分理解し、学習指導の実践研究、普及啓発が行われるよう研修会を開催する。

2 開催日時 令和5年8月23日（水） 午後1時15分から午後4時30分  
（接続：午後0時45分～）

3 会 場 Z o o mによるオンライン開催（ライブ配信）

4 主 催 埼玉県教育委員会

##### 5 参加対象者

- (1) 公立の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校において、がん教育を行う教職員（体育科・保健体育科及び特別活動、道徳科等を担当する教職員）
- (2) 公立の小・中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に勤務する管理職及び教職員
- (3) 市町村教育委員会の指導主事等
- (4) 学校医等及び外部講師によるがん教育に関心のある方（医療従事者、がん経験者等）

##### 6 日 程 ※閉会行事後にアンケートに回答していただきます。

12:45	13:15	13:20	13:35	14:35	14:45	16:15	16:25	16:30
接 続	開 会 行 事	行政説明 15分	実践事例発表 60分	休憩	講 演 90分	質 疑 応 答	閉 会 行 事	

##### 7 内 容

- (1) 行政説明 教育局県立学校部保健体育課 指導主事 坂上 三四郎
- (2) 実践事例発表
  - ・小学校指導事例 第6学年 特別の教科 道徳 主題名 命のかがやき  
内容項目【D 生命の尊さ】  
「命をみつめて」  
羽生市立新郷第一小学校 教諭 工藤 隆太
  - ・中学校指導事例 第2学年 保健体育（保健分野）  
「健康な生活と疾病の予防」（ウ）生活習慣病などの予防  
小鹿野町立小鹿野中学校 教諭 笠原 勇人
  - ・高等学校指導事例 第1学年 保健体育（科目保健）  
「現代社会と健康」（ウ）生活習慣病などの予防と回復  
県立松山女子高等学校 教諭 大久保 亜耶

### (3) 講演

「学校におけるがん教育の推進 ～学習指導要領の考え方を踏まえて～」

講師 横浜国立大学教育学部 学校教員養成課程 保健体育  
教授 物部 博文 氏

## 8 その他

### (1) 研修当日用意するもの

ア オンライン視聴することができる端末等

イ 研修会配付資料及び筆記用具

※埼玉県HPからダウンロードし、オンライン画面を見ながら資料も参照できるように準備する。資料は令和5年8月18日（金）頃までに掲載予定。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 学校保健に関すること > 各種研修会の配布資料

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/kenshushiryoku.html>

2次元バーコード



※研修会終了に伴い、研修会配付資料の掲載も終了しています。

ウ 保健教育指導参考資料 なるほど！保健の授業づくりー令和4年度発行ー

(令和5年3月 埼玉県教育委員会・埼玉県学校保健会)

※各校に1冊配付済みの他、埼玉県HPからもダウンロードできます。

トップページ > 健康・福祉 > 健康 > 健康教育

掲載HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2211/hokenkyouiku.html>

2次元バーコード



### (2) 申込から研修当日までの流れ

別紙「令和5年度埼玉県がん教育指導者研修会申込マニュアル」を参照

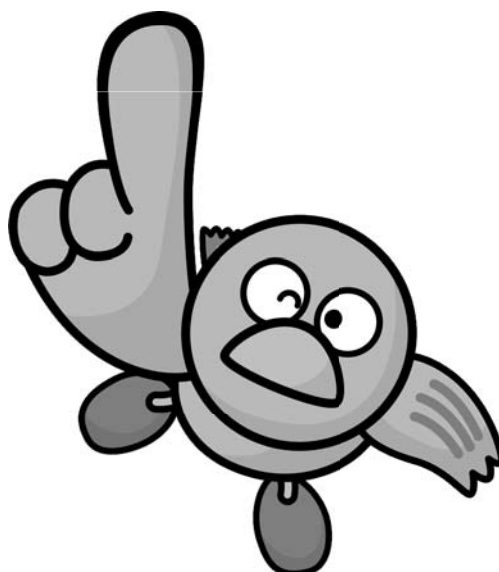


<講演資料>

「学校におけるがん教育の推進

～学習指導要領の考え方を踏まえて～」

講 師 横浜国立大学教育学部 教授 物部 博文 氏



埼玉県マスコット「コバトン」

## 学校におけるがん教育の推進 ～学習指導要領の考え方を踏まえて～

横浜国立大学教育学部  
物部博文  
**YNU**

<https://www.youtube.com/watch?v=gtqFm9sIeI>

### <参考資料>

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt\\_kensyoku-01.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt_kensyoku-01.pdf)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt\\_kensyoku-02.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt_kensyoku-02.pdf)  
[https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook\\_R020040/index\\_h5.html#1](https://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_R020040/index_h5.html#1)  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt\\_kensyoku-01.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/icsFiles/afiel/2020/20200317-mxt_kensyoku-01.pdf)  
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html>

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（各校種・各教科）

### <参考ウェブサイト>

**学校保健**  
 子どもの健康増進と大人の病気の  
 日本学校保健会 公式サイトへ

児童生徒の健康管理・健康づくり推進計画  
 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた保健の授業

新学習指導要領に基づく保健の授業  
 「新学習指導要領に基づく保健の授業」  
 一歩ずつ、段階的に、学校で実践  
 文部科学省初等中等教育政策課健康政策・食育課 健康政策推進官  
 文部科学省初等中等教育政策課健康政策・食育課 健康政策推進官

オンライン説明会  
 新学習指導要領に基づく保健の授業  
 文部科学省初等中等教育政策課健康政策・食育課

がん教育の実践事例も含む  
<https://www.gakkohoken.jp/health-management-and-health-promotion>

### ICTの活用（体育科教育 2022年8月号）

- ・動画やスライドをLMSにアップし、反転学習
- ・シンキングツールの活用
- ・ワードクラウドによる視覚化
- ・全員分モニター表示
- ・アップした動画や質問へのレスポンス
- ・デジタルポートフォリオ
- ・google mapの活用

など

### ウォーミングアップ「流れ星」

- ・紙の右上の隅から左下の方に向けて、流れ星が一つ落ちてきました。
- ・その星の下に一軒の家が建っています。
- ・その家の前には大きい池があって、アヒルが3羽泳いでいます。
- ・その家の玄関には旗竿が立っていて、日の丸の旗がかかっています。
- ・その家の後ろには大きい木が一本立っていて、その木のてっぺんの所に三日月が見えています。
- ・渡り鳥が2, 3羽飛んでいます。

### 健康に関する現代的な課題

- ・がん（日本人の死因1位で生涯罹患2人に1人）
- ・こころの健康（精神疾患の増加と低年齢化）
- ・少子高齢化（介護予防、健康寿命延伸）
- ・生活習慣病（日本人の死因の6割）
- ・感染症（性感染症も含む）
- ・安全（自然災害）
- ・依存症（薬物、アルコール、その他）
- ・労働と健康（働き方改革）
- ・睡眠と電子機器（学校でも大きな課題に）
- ・臓器移植や人工細胞

- ・ 中学校・高等学校を中心にがん教育が入ったこと、高等学校に精神疾患が入ったこと、その関係で中学校の心の健康が変わったこと

- ・ 運動領域との関係を前面に出したこと

- ・ 安全、食育にも関わる点として、学校保健計画、学校安全計画、食に関する指導の全体計画等の関連付けが総則に入ったこと

物部博文, 吉門直子, 清久利和, 横嶋剛: 健康・安全・食に関する力を育成するために、初等教育資料 973 (11) : 42 - 49 2018

- ・ 評価の観点が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に統一されたこと

### 分かったつもりの問題

田島 (2003) らは、教室文脈で概念を理解しているように見える学習者が、日常経験知など他の社会文脈における知識との関連づけの解釈を求められた場合に応答できず、彼らの「理解」の成立が疑問視されてしまう現象を分かったつもりと呼んだ。

小学校5年生を対象に、「胎児が胎盤を通して栄養や酸素を母親から受け取る仕組みに関する概念」について対話活動を通して認識の深まりを確認した(田島, 2009)。



田島充士他 (2003) 素朴概念の理論的再検討と概念学習モデルの提案—なぜ我々は「分かったつもり」になるのか?—筑波大学心理学研究, 26, 83-93  
田島充士他 (2009) 説明活動が概念理解の促進に及ぼす効果—バブロン理論の「対話」の観点から—教育心理学研究, 57, 478-490

### 素朴概念

「学校などで系統的な科学教育を受けてなくとも、人間は日常経験から自然現象に関する「自分なりの」理解を作り上げている。こうして作られ、保持され、利用される概念を素朴概念 (naive conception) と呼ぶ。素朴概念は科学的 (に正統な) 概念と対比して「誤った概念」として扱われることも多いが、科学的な概念を絶対視せず素朴概念それ自体権利を持ったものとして扱おうとする考え方もある。このような考え方の違いから、様々な呼称が用いられており、日常概念 (everyday conception), 誤概念 (misconception), オールタナティブ・フレームワーク (alternative frameworks), 概念バグ (conceptual bug), こどもの科学 (children's science) などがある」(教育工学事典, 2000)

- ・ 聴覚障害者は小さく聞こえている
- ・ 胸骨圧迫における心臓の位置
- ・ 喫煙はリラックスできる . . . . . 小浜らの研究

### 良い問題の条件 (藤岡による)

- ・ 具体性: 「問題」を構成する諸要素が広く深く子どもの経験と結びついていること
- ・ 検証可能性: 「問題」に対する答えが存在し、しかもどの予想が正しいか調べる説得性のある手だてが存在すること
- ・ 意外性: 子どもの予想と正答との間に何らかのズレがあり、結論が思いがけないものになること
- ・ 予測可能性: その「問題」を学習した結果として、同類の新しい「問題」に対して学習者がより正しい予測ができるようになり、あるいは関連したより多くの「問題」に予想が立てられるようになっていくという効果を問題が有していること

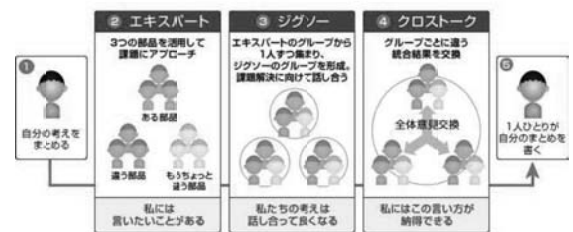
児童生徒つまづきを学習に . . .

### 建設的相互作用

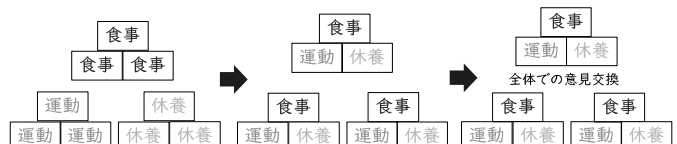
- ・ 一人で話を聞いたり自主学習したり
  - ✓ 分かったつもりになるとそれ以上深めない
  - ✓ 浅い理解であっても間違っても気づかない
- ・ 二人以上で考えたり問題を解いたりすると、
  - ✓ 自分の考えを見直すチャンスが増える
  - ✓ 相手の解を少し広い視野から見直せる
- ・ 一人ひとりが自分の考えを作り直すくり返し
  - ✓ 納得できる、より適用範囲の広い理解が生み出される
  - ✓ わかってくると、次にわからないことが見えてくる

三宅なほみ: 学習科学: 協調的な実践科学と理論構築との互惠関係をめざして, 人工知能学会誌, 21(1), 77-84, 2006.

図5 知識構成型ジグソー法の流れ



<https://www.sky-school-ict.net/shidoyoroyori/161007/>



## 学習指導要領での変化

学習内容（コンテンツ）ベース，つまりどのような内容を教えるかに加え，

資質・能力（コンピテンシー）ベース，つまり，児童・生徒が何を学びどのような資質・能力を身につけたかが問われる。

## ヘルスリテラシーの育成

ヘルスリテラシー:良い健康を促進し，維持する方法についての情報に接近し，認識し，利用する個人の能力と動機を決定するような認知的・社会的能力

Health Literacy: The cognitive and social skills which determine the motivation and ability of individuals to gain access to, understand and use information in ways which promote and maintain good health.

Available at: <http://www.who.int/healthpromotion/conferences/7gchp/track2/en/>  
Accessed September 1, 2014

## 保健と健康に関する指導

### 保健教育（健康の保持増進に関する指導）

**保健** ⇒知識体系に基づいた教科・全国共通

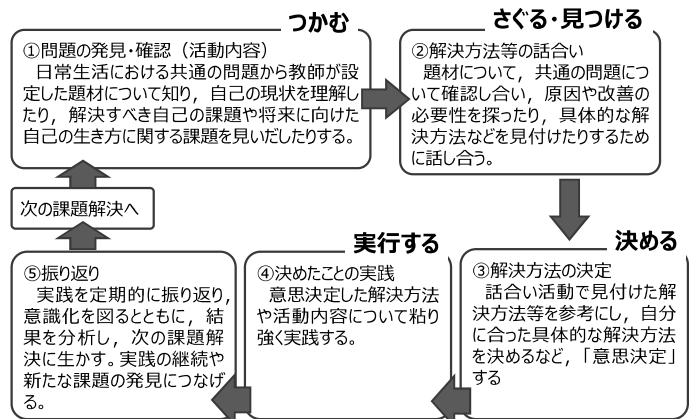
健康・安全についての科学的認識の発達を目指し，基礎的・基本的事項を理解し，思考力，判断力を高め，働かせることによって，適切な意思決定や行動選択ができるようにする（的確な思考・判断を中核とした実践力の育成）。

**特別活動（健康に関する指導）** ⇒なすことによって学ぶ領域・学校や学級の児童・生徒の健康課題

当面する健康課題を中心に uptake，具体的な課題解決ができる資質や能力，さらには望ましい習慣の形成を目指す。

・生徒が学んだ知識を実生活の中で実践できるような指導の工夫

(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全の学習過程（例）



小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編

## 保健と健康に関する指導

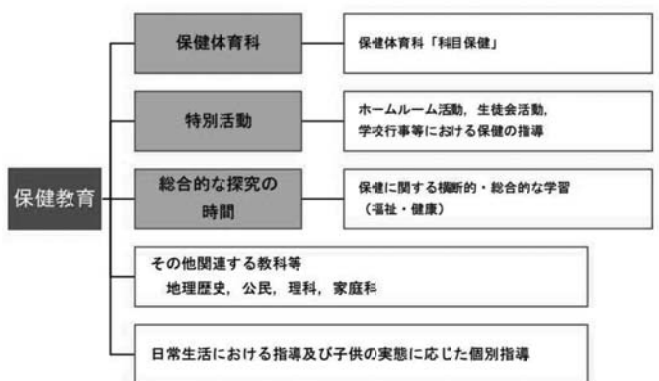
### 保健教育（健康の保持増進に関する指導）

**保健** ⇒知識体系に基づいた教科・全国共通

健康・安全についての科学的認識の発達を目指し，基礎的・基本的事項を理解し，思考力，判断力を高め，働かせることによって，適切な意思決定や行動選択ができるようにする（的確な思考・判断を中核とした実践力の育成）。

**健康に関する指導**

当面する健康課題を中心に uptake，具体的な課題解決ができる資質や能力，さらには望ましい習慣の形成を目指す。



養老本書において指導例を取り上げる内容

図1-2 保健教育の体系

『改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引』

## 保健の構造と系統性

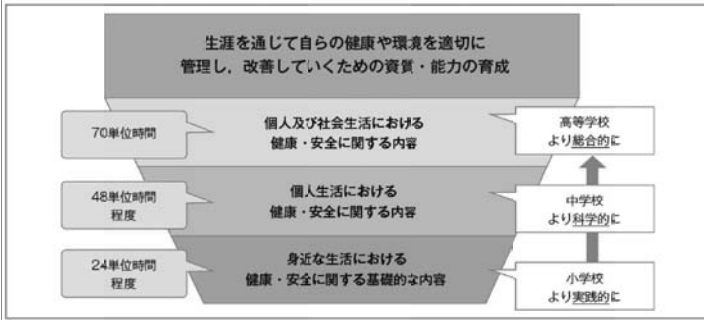


図1-3 保健における体系イメージ

「改定『生きる力』を育む小学校保健教育の手引き」

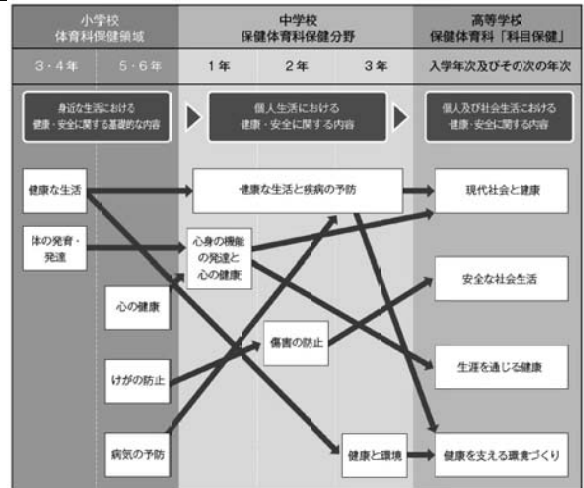
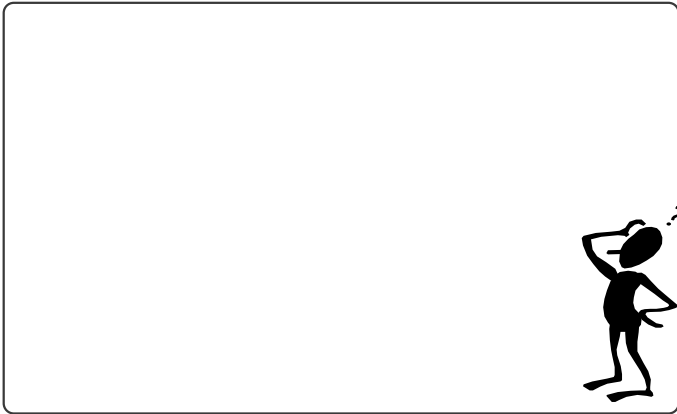


図1-4 保健における内容の系統性

「改定『生きる力』を育む小学校保健教育の手引き」

## 児童・生徒が保健をどのように感じていると思いますか



## 保健のイメージから見える課題

平成29年 保健学習推進委員会報告書  
-第3回 全国調査の結果-

(財)日本学校保健会

- Q. 保健の学習は大切だ
- Q. 保健の学習をすれば今の私の生活に役に立つ
- Q. 保健の学習が好きだ
- Q. 保健の学習はおもしろい



対象者 小5、中1、高1、高3

尺度（数字は項目数）

保健の学習意欲（感情(3)、価値(3)、期待(5)）

健康の価値の認知(3)

日常生活での実践状況(3)

- ・平成16年度調査と比較して平成22年度調査で感情、価値、期待のほとんどの項目で肯定的に回答する傾向
- ・価値については全般的に肯定的な回答が高い傾向
- ・期待についてはどの学年も肯定的な回答が7割以上
- ・感情については小5で6割、他学年は5割程度

## 児童・生徒が保健の学習を好きになるには

ねらいにあった多様な学習教材の開発や学習方法の工夫

グループワーク  
ディスカッション  
ディベート  
ロールプレイング  
実験  
実習  
フィールドワーク  
インターネットを活用した調べ学習



指導法	授業で用いられる場面	効果
グループワーク	授業の導入・展開・まとめ	主体的な学習態度の醸成、コミュニケーション力の向上、協働的な学習態度の醸成
発表・発表	授業の導入・展開・まとめ	主体的な学習態度の醸成、コミュニケーション力の向上、協働的な学習態度の醸成
発表・発表	授業の導入・展開・まとめ	主体的な学習態度の醸成、コミュニケーション力の向上、協働的な学習態度の醸成
発表・発表	授業の導入・展開・まとめ	主体的な学習態度の醸成、コミュニケーション力の向上、協働的な学習態度の醸成
発表・発表	授業の導入・展開・まとめ	主体的な学習態度の醸成、コミュニケーション力の向上、協働的な学習態度の醸成

表3 実習事例における指導の工夫について

【指導内容】  
 ①アスナクション ②ブレインストーミング ③ロールプレイ ④実演 ⑤実験  
 ⑥読書学習 ⑦ケーススタディ ⑧IC活用 ⑨実践的指導との連携・協力  
 ⑩保護・医療機関との連携（外部講師の活用） ⑪フィールドワーク

指導内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
1. 第1学期(1)現代社会と健康 力の健康の考え方の国際的転換課題	○										
2. 第1学期(1)現代社会と健康 の現代の健康とその予防	○	○			○						
3. 第1学期(1)現代社会と健康 の生活習慣病などの予防と健康	○	○						○			
4. 第1学期(1)現代社会と健康 の「予防、救急、手術」による健康	○	○						○	○		
5. 第1学期(1)現代社会と健康 の精神疾患の予防と健康	○										
6. 第1学期(2)健全な社会生活 の成否手帳 心の健康と生活	○	○									
7. 第2学期(2)健康を過ごす健康 の生活の各段階における健康 の健康と健康	○	○			○	○					
8. 第2学期(2)健康を過ごす健康 の健康と健康	○	○									
9. 第2学期(4)健康をえとる健康づくり の医薬品の開発とその活用	○	○									
チーム・ルーム活動 第2学年「健康な生活習慣を身に 付けよう」	○	○			○						
総合的な学習の時間 第2学年「地域で取り組む健康プロ ジェクト」	○								○		

## 思考力・判断力・表現力等を育む 学習活動例

- (1) 体験から感じ取ったことを表現する
- (2) 事実を正確に理解し伝達する
- (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする
- (4) 情報を分析・評価し、論述する
- (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する
- (6) お互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる

文部科学省：言語活動の充実に関する指導事例集、2010.

小・中学校版から高等学校版への変化



## 1. 児童・生徒になったつもりで 一緒に考えてみましょう (なぜがん教育なのか、日本の課題)

### Q. 病気「X」は何でしょう

- ・病気「X」は、誰もがなりうる病気です。
- ・病気「X」は、男性のほうがなりやすいです。
- ・病気「X」は、50歳前後から増加します。
- ・病気「X」は、原因がわからない場合もあります。
- ・病気「X」は、なかなか自覚症状が出ません。

さて、病気「X」は、何でしょう

改訂「生きる力」を育む中学校保健教育の手引き  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/1354075.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1354075.htm)  
 を改編

### Q. 日本人の何人にひとりが 一生のうちにがんになるとおもいますか

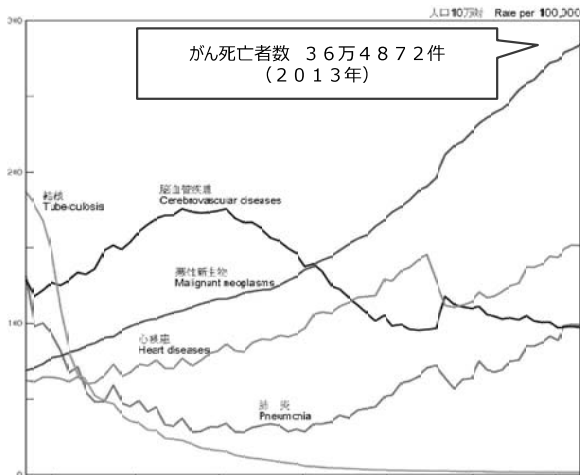
- ① 100人にひとり
- ② 50人にひとり
- ③ 10人にひとり
- ④ 2人にひとり



## がんになる人の割合



2人に1人



31  
がんは、1981年より死亡原因の第1位で、全死亡の約30%

### 日本人の生涯リスク

男性60%



女性45%

2人に1人

表 がん罹患する確率～累積罹患リスク(%) (2010年)

性別	現在年齢	10年後	20年後	30年後	40年後	50年後	60年後	70年後	80年後	生涯
	男性	0歳	0.1	0.2	0.5	0.9	2	8	20	40
女性	現在年齢	10年後	20年後	30年後	40年後	50年後	60年後	70年後	80年後	生涯
	0歳	0.1	0.2	0.6	2	5	10	18	28	45

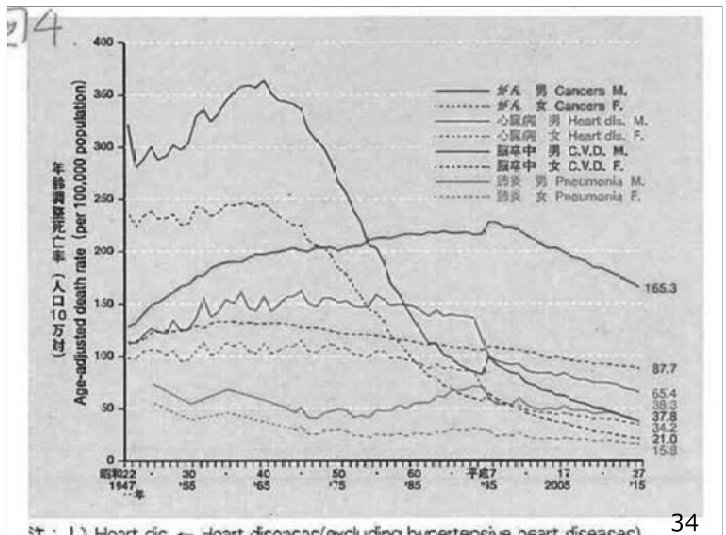
出典：国立がん研究センターがん対策情報センター

32

Q. がんは死にやすい病気なのでしょうか  
年齢を調整した死亡率を算出すると・・・



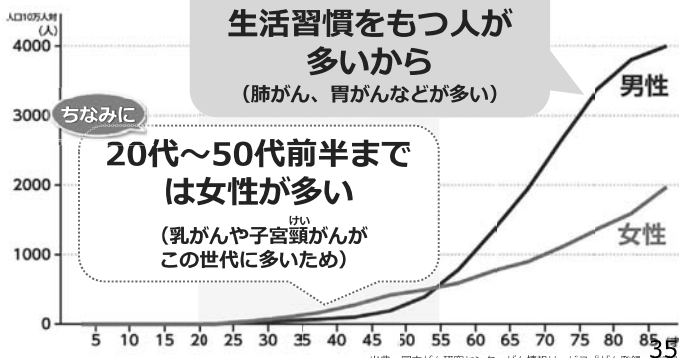
33



34

Q. 男性の方が多いのはなぜか

がんの危険性を高める  
生活習慣をもつ人が  
多いから  
(肺がん、胃がんなどが多い)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス [がん登録・統計]

Q. 「がん」ってどんな病気

- ・「がん」という病気の名前を聞いたことはありますね。
  - ・それでは、がんとはどのような病気かを説明してみましよう。
- 図やイラストを使って説明します。



36

## がんとはどんな病気？

細胞の設計図のミスは、毎日からだのどこかで起きるたびに修理されています。でも、ミスが見のがされてしまうと、がん細胞になります。



修理屋さんが毎日ミスを直している

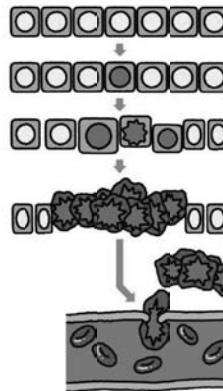


からだの中の修理屋さんが、がん細胞ができるのをふせいでいるんだね！

出典：豊島区教育委員会「がんに関する教育」小学校教材

37

## がんとはどんな病気？



人の体は細胞でできています。

その細胞の設計ミスで、がん細胞ができてしまいます。

がん細胞が長い年月をかけてふえ続けると、病気ががんになります。



出典：豊島区教育委員会「がんに関する教育」小学校教材

38

Q. がんを予防するために何ができるか考えてみましょう（がんの要因）



39

Q. 「がんの原因は何か」

がんの原因について、友達と話し合いをしてみましょう。

- ① 「がんの原因は何か」というテーマでブレインストーミングをします。
- ② 各グループで書記を1名決めてください。そして、グループのメンバーすべての意見がでつくまで、一人ひとり遠慮しないで思ったままの意見を素直に述べてください。意見の違いや疑問点などについては議論しないでください。また、出された意見について否定はしないようにします。書記の人は、ラベル1枚にひとつの意見だけを黒色のサインペンあるいはボールペンで書いてください。当然、書記のひと意見も言って、ラベルに書いてください。

40

③意見がでつくしたら、ラベルを机の上に広げて以下の手順で議論しながら分類・整理します。

- 1) 似通って意見の書かれたラベルをまとめる。このとき、あらかじめ分類の基準を決めてからこのラベルを分類する方法はとらない。
- 2) 共通する見出しを考え、それを新たなラベルに赤色のサインペンで書いてクリップでとめる。なお、どうしてもまとめることができない意見はそのままにしておく。
- 3) こうしてまとめた見出しや意見をながめて、近い見出しや意見どうしをさらにまとめる。同様にそれらを新たなラベルにサインペンで書き、輪ゴムでまとめる。
- 4) 意見を分類・整理した過程がわかるように、模造紙に個々のラベルを貼って図式化する。

41

Q. がんを防ぐための新12か条はどれだろう

### 5 資料等

#### (1) ワークシート

がんの予防 ワークシート	
1年 組 氏名	
○ がんを防ぐための新12か条はどれだろう？ □してみよう。	
<input type="checkbox"/> たばこは吸わない	<input type="checkbox"/> 適度に運動
<input type="checkbox"/> 他人のたばこの煙を避ける	<input type="checkbox"/> 適切な体重維持
<input type="checkbox"/> お酒はほどほどに	<input type="checkbox"/> 揚げた部分はさける
<input type="checkbox"/> 毎日、変化のある食生活を	<input type="checkbox"/> かびの生えたものに注意
<input type="checkbox"/> バランスのとれた食生活を	<input type="checkbox"/> 日光に当たりすぎない
<input type="checkbox"/> 食べすぎを避け、脂肪にひかえめに	<input type="checkbox"/> ウイルスや細菌の感染予防と治療
<input type="checkbox"/> 塩辛い食品はひかえめに	<input type="checkbox"/> 定期的ながん検診を
<input type="checkbox"/> 食べ物から過量のビタミンと繊維質のものを多くとる	<input type="checkbox"/> 体を清潔に
<input type="checkbox"/> 野菜や果物は不足にならないように	<input type="checkbox"/> 身体の異常に気がついたら、すぐに検診を
<input type="checkbox"/> 塩辛いものは少なめに、あまり熱いものはさましてから	<input type="checkbox"/> 正しいがん情報でがんを知ることから

日本学校保健会HP

<https://www.gakkohoken.jp/health-management-and-health-promotion>



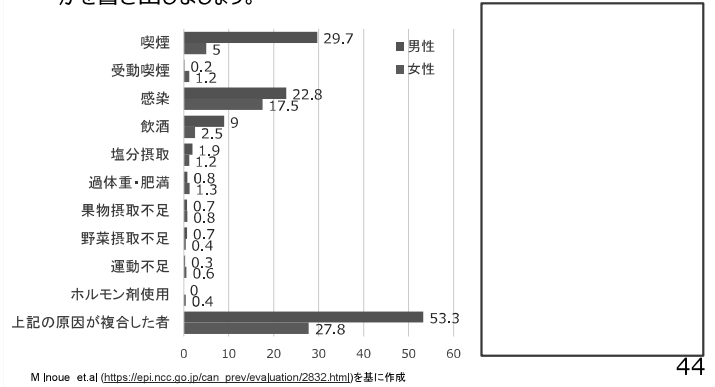
Q.日本人のがんの原因について多いものは何か考えてみましょう

男性	順位	女性	順位
喫煙		喫煙	
飲酒		飲酒	
塩分摂取		塩分摂取	
感染		感染	
過体重・肥満		過体重・肥満	

43

Q.「がんの原因は何か」

次のグラフはがんの原因について、それぞれがどれぐらいの割合を占めているかを示したグラフです。下のグラフからどのようなことが言えるかを書き出しましょう。



44

感染症が原因と考えられるがん

- 胃がんは、塩分の高い食事やピロリ菌が原因としてあげられる。 →20歳以下では2割程度、50歳以上で7～8割
- 肝臓がんの8割がB型・C型肝炎ウイルスによる。 →輸血・医療行為により感染
- 子宮頸がんは、性交渉によるHPVへの感染が1要因である。 →HPVワクチンにより7割予防可能

45

Q. どのような生活を送ればよいのだろう

節酒

禁煙

適正体重の維持

バランスのよい食事

適度な運動

望ましい生活習慣によりがんになる危険性を減らすことができる

出典：国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ 科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防法46  
ライン漫画に関する研究を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成（より一部改変）

46

喫煙の害

- Q1. 体に害のある物質をなるべくたくさんあげてみましょう。
- Q2. たばこは、体に悪い……
- Q3. ことは誰でも知っているのに、なぜ多くの大人はたばこを吸っているの？
- Q4. 本当は、たばこは体に悪くないんじゃないの？

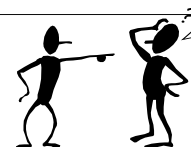
47

Q.反論してみましょう

タバコの効果だってあるよ……

ストレスがあるからタバコを吸ってしまうんだよ

タバコはリラックスできるという利点がある



小浜明：「知識は必ずしも行動に結びつかない」「知識」とは何か—子どもが教室に持ち込む「素朴概念」に関する調査から、体育科教育、65 (9)、46 - 50、2017

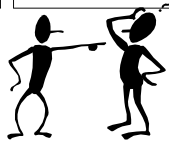
48

Q.反論してみましょう

タバコが悪いのはわかるけど...

タバコより自動車の排気ガスはどうなんだ？

その他の環境汚染はどうなんだ？



Q.反論してみましょう

大人になればみんな吸っているよ

タバコは大人っぽくてかっこいいよ

イイ女はタバコを吸うものだ！



「栄養バランスの良い食事がとれない」のはなぜだろう。

何となくわかるような気もするし、でも具体的にはよくわからない。そこで、どうしてできないのか話し合いをしてみましょう。

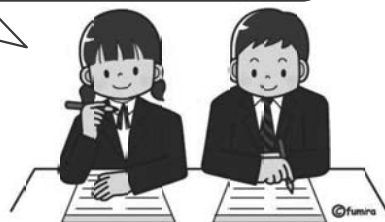
- ①「栄養バランスの良い食事がとれない理由は何か」というテーマでブレインストーミングをします。
- ②各グループで書記を1名決めてください。そして、グループのメンバーすべての意見がでつくすまで、一人ひとり遠慮しないで思ったままの意見を素直に述べてください。意見の違いや疑問点などについては議論しないでください。また、出された意見について否定はしないようにします。書記の人は、ラベル1枚にひとつの意見だけを黒色のサインペンあるいはボールペンで書いてください。当然、書記の人も意見を言って、ラベルに書いてください。

③意見がでつくしたら、ラベルを机の上に広げて以下の手順で議論しながら分類・整理します。

- 1) 似通った意見の書かれたラベルをまとめる。このとき、あらかじめ分類の基準を決めてからこのラベルを分類する方法はとらない。
- 2) 共通する見出しを考え、それを新たなラベルに赤色のサインペンで書いてクリップでとめる。なお、どうしてもまとめることができない意見はそのままにしておく。
- 3) こうしてまとめた見出しや意見をながめて、近い見出しや意見どうしをさらにまとめる。同様にそれらを新たなラベルにサインペンで書き、輪ゴムでまとめる。
- 4) 意見を分類・整理した過程がわかるように、模造紙に個々のラベルを貼って図式化する。

生活習慣の相互評価とアドバイス

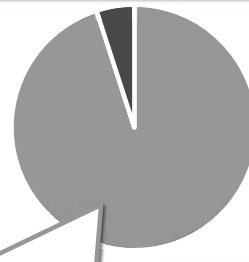
すごく疲れているよね。睡眠不足が原因じゃないかなあ。ここの部分をけずると、もう少し早く眠れると思うよ。



横浜国立大学附属横浜中学校



検診でがんを早期発見するとどれくらいの方が治るのだろうか

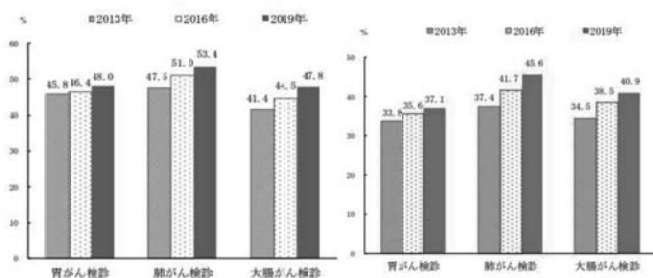


約95%の人が治る

Q. 日本人のがん検診受診率はどのくらいだろう

## がん検診の受診率

(過去1年間)



出典：厚生労働省 平成25年 国民生活基礎調査

Q. がん検診に行きたくなるようなポスターを作成しよう



「がん検診に行きたくなるようなポスターを作成しよう」



参考 杉山正明先生の実践事例

5 がん教育実践場における実践の展開

令和2年度がん教育推進事業 がん教育実践場実践報告書

北見市立常呂中学校 学年数：3 2) 対象 生徒数：87人

【実践テーマ】  
 全体的健康と寿命の長短を高めることも、自分のより良い生活や学習生活を実現するために必要な健康づくり

【実践経緯】  
 ① 授業科目：第3学年  
 ② 単元：命、健康と生活 (授業分析)

○ がんについての基礎学習 (クイズ-見) を実施し、がんについての興味を高める。  
 本時の取組  
 1. グループワークで4つの問いを話し合い、模造紙に取組む。  
 (1) がんとは、どんな病気か  
 (2) がんにかかるとどんなことになるのか  
 (3) がんは、どうして発生するのだろうか  
 (4) 中学生の果たす役割は、がんにならないためにどんなことに気をつけなければならないか

2. 模造紙で取組んだことを共有し、メンバーに説明する。質疑応答  
 3. 4つの問いをグループで整理する。

○ がんについての正しい知識を得る。  
 本時の取組  
 1. 実習科学習準備「がんの検査方法のための資料」をスライド資料を作成し、がんについての正しい知識を得る。  
 2. がんの予防や検査  
 (1) がんの予防や検査による早期発見の重要性  
 (2) がんの検査方法の3つを比べる  
 3. 自分がかかるとどう感じる想像を上げる。

○ 模造紙の整理や共有の場には、人々の健康を失くす悲劇的な結末が想定できることと認識できるようにする。  
 本時の取組  
 1. 自分がかかるとどう感じる。  
 2. がん検診結果の状況について共有。  
 3. 北見市の検診結果を共有し、向上するための工夫を話し、模造紙に共有する。

「がん検診に行かない理由は何だろう」

行かなくやいけな思っていてもついついできない。そこで、どうしてできないのか話し合いをしてみましょう。

- ①「がん検診に行かない理由は何だろう」というテーマでブレインストーミングをします。
- ②各グループで書記を1名決めてください。そして、グループのメンバーすべての意見がでつくすまで、一人ひとり遠慮しないで思ったままの意見を素直に述べてください。意見の違いや疑問点などについては議論しないでください。また、出された意見について否定はしないようにします。書記の人は、ラベル1枚にひとつの意見だけを黒色のサインペンあるいはボールペンで書いてください。当然、書記の人も意見を言って、ラベルに書いてください。

③意見がでつくしたら、ラベルを机の上に広げて以下の手順で議論しながら分類・整理します。

- 1) 似通って意見の書かれたラベルをまとめる。このとき、あらかじめ分類の基準を決めてからこのラベルを分類する方法はとらない。
- 2) 共通する見出しを考え、それを新たなラベルに赤色のサインペンでかいてクリップでとめる。なお、どうしてもまとめることができない意見はそのままにしておく。
- 3) こうしてまとめた見出しや意見をながめて、近い見出しや意見どうしをさらにまとめる。同様にそれらを新たなラベルにサインペンで書き、輪ゴムでまとめる。
- 4) 意見を分類・整理した過程がわかるように、模造紙に個々のラベルを貼って図式化する。

## 「がん検診に行かないA先生を行かせるためには」

みなさんの担任のA先生は、「忙しいし、俺若いし、がんにならないからがん検診に行かない」と言っています。そこで、みなさんの力を総動員してA先生をがん検診に行かせてほしいのです。

「A先生をがん検診に行かせるために」というテーマでブレインストーミングをします。



61

## 一次予防

適正な食事や運動不足の解消、禁煙や適正飲酒、そしてストレスコントロールといった健康的な生活習慣づくりの取り組み。

## 二次予防

病気の早期発見と早期治療によって病気が進行しないうちに治してしまうこと。

## 三次予防

適切な治療により病気や障害の進行を防ぐこと。

62

## がん患者への理解と共生

DVD教材もあります



63

## 猿渡さんの手記



猿渡瞳さん「命を見つめて」弁論大会 - YouTube

64

文部科学省の動画でがんサバイバーの動画を見てみましょう



65

## 2.がん教育とは どのような内容でしょう

## (公財) 日本学校保健会の報告書 (H26.2)

がんの教育に関する検討委員会 報告書

平成27年3月

### <がん教育の目標>

- 1) がんに関して正しく理解できるようにする
- 2) いのちの大切さについて考える態度を育成する

### <がん教育の具体的な内容>

- ア がんとは (発生要因)
- イ 疫学
- ウ 予防
- エ 早期発見・検診
- オ 治療 (手術、放射線、抗がん剤)
- カ 緩和ケア
- キ 生活の質
- ク 共生

[http://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook\\_H250020/H250020.pdf](http://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_H250020/H250020.pdf) 67

## 「がん教育」の在り方に関する検討会 (文部科学省報告書, H27. 3)



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/kenko/hoken/\\_icsFiles/afieldfile/2016/04/22/1369993\\_1\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/_icsFiles/afieldfile/2016/04/22/1369993_1_1.pdf)

### <がん教育の目標>

- ① がんについて正しく理解することができるようにする
- ② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

- ア がんとは (がんの要因等)
- イ がんの種類とその経過
- ウ 我が国のがんの状況
- エ がんの予防
- オ がんの早期発見・がん検診
- カ がんの治療法
- キ がん治療における緩和ケア
- ク がん患者の生活の質
- ケ がん患者への理解と共生

68

## <がん教育の定義>

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通して、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育である。

69

## がん教育の具体的な内容

- ア がんとは (がんの要因等)
- イ がんの種類とその経過
- ウ 我が国のがんの状況
- エ がんの予防
- オ がんの早期発見・がん検診
- カ がんの治療法
- キ がん治療における緩和ケア
- ク がん患者の生活の質
- ケ がん患者への理解と共生

「がん教育」の在り方に関する検討会(文部科学省報告書, H27.3)

70

## <発達の段階を踏まえた指導>

がんに関する科学的根拠に基づいた理解については、中学校・高等学校において取り扱うことが望ましいと考えられる。その際、保健体育で疾病の予防が位置付けられている中学校3年生や高等学校1年生を対象にまとめて時間を配置したり、全ての学年で時間を確保したりするなどの工夫を行うよう配慮する。また、健康や命の大切さの認識については、小学校を含むそれぞれの校種で発達の段階を踏まえた内容での指導が考えられる。

「がん教育」の在り方に関する検討会 71

## <内容の取扱い>

- ・ア～ケの内容を適宜関連付けて、理解できるようにする。また、それぞれの内容を関連付けて、一次予防 (生活習慣の改善等)、二次予防 (がん検診等) について理解できるようにする。
- ・現在及び将来に直面するがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにする。
- ・がん教育の二つの目標を達成するために、がんを通して健康や命のかけがえのなさに気付き、がん患者や家族などのがんと向き合う人々の取組に関心をもつとともに、健康な社会の実現に努めることができるように留意する。

「がん教育」の在り方に関する検討会 72

中学校学習指導要領解説（211頁）

(ウ) 生活習慣病などの予防

㊦ 生活習慣病の予防

生活習慣病は、…

① がんの予防

がんは、異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり、その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることを理解できるようにする。また、がんの予防には、生活習慣病の予防と同様に、適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることを理解できるようにする。

なお、㊦、①の内容と関連させて、健康診断やがん検診などで早期に異常を発見できることなどを取り上げ、疾病の回復についても触れるように配慮するものとする。 73

高等学校学習指導要領解説（2018.7）

(ウ) 生活習慣病などの予防と回復

がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解できるようにする。

その際、がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて理解できるようにする。がんの回復においては、手術療法、化学療法（抗がん剤など）、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。 74

また、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できるようにする。

なお、日常生活にスポーツを計画的に取り入れることは生活習慣病などの予防と回復に有効であること、また、運動や食事について性差による将来の健康課題があることについて取り上げるよう配慮する。

75

報告書と学習指導要領の関係（私案）

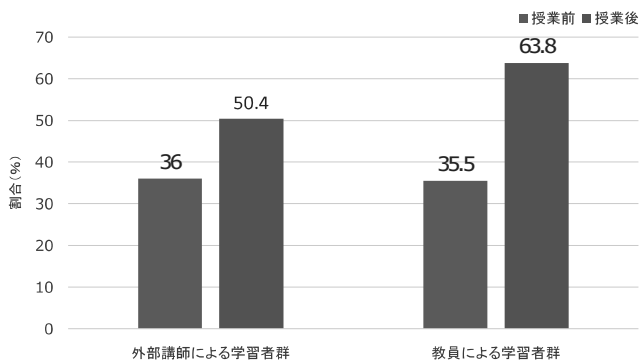
	小学校	中学校	高校
ア がんとは（がんの要因等）	○	○	○
イ がんの種類とその経過		△	○
ウ 我が国のがんの状況	○	○	○
エ がんの予防	○	○	○
オ がんの早期発見・がん検診	○	○	○
カ がんの治療法			○
キ がん治療における緩和ケア			○
ク がん患者の生活の質			○
ケ がん患者への理解と共生	◇	◇	◇

○：主に保健で取り扱う内容、

◇：主に特別活動、特別の教科道徳で扱う内容

76

留意点① がん患者＝たばこやお酒をやりすぎた人ではない



「たばこやお酒をやりすぎた人」の割合

助友裕子：がん教育のこれから、初等教育資料、973、78-81、2018

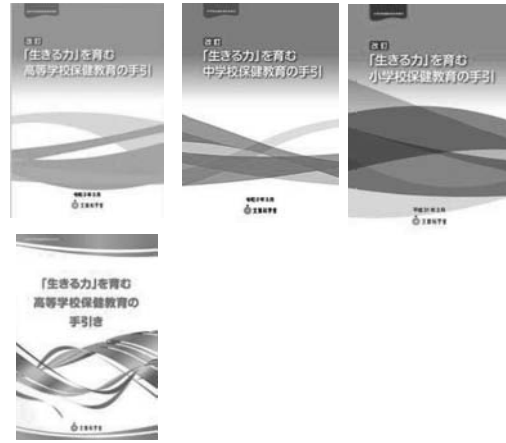
留意点② がん教育を進めるうえでの配慮

- ・小児がんの当事者、小児がんの既往のある児童・生徒
- ・家族にがん患者がいる児童・生徒や、家族をがんで亡くした児童・生徒
- ・クラスにがん患者や、がんの既往のある児童・生徒がいる場合
- ・生活習慣が主な原因とならないがんもあること（小児がん、肝がんなど）特に、これらのがん患者が身近にいる場合

78

### 3.実践事例

#### 事例 改訂「生きる力」を育む高等学校保健教育の手引き



実は、みなさんの担任の〇〇先生は、がん検診に行かなくてはならないのに、面倒だと言って行きません。みんなは今日、がんのことを知ったので、ぜひ行くように説得してほしいです。〇〇先生が「そうか、それなら行かなくっちゃ」と思えるような話をしてください。



がん検診なんて面倒くさい。

横浜市・瀬谷中学校・永井先生

81

- ・がんは日本人の死因の何位
- ・何人に1人ががんにかかっている
- ・何人に1人ががんで亡くなる

ロイノートの活用

- ・正しく働かない細胞が増えてがん細胞になる
- ・働かない細胞は修理屋さんがなおしてくれる
- ・修理屋さんがなおしきれないことがある
- ・原因は、たばこを吸っていることやお酒の飲みすぎ
- ・今の私たちの生活でもがんになる原因があります
- ・（たばこお酒以外に）どんな生活をしていたらがんになるのか
- ・児童のグループ活動
- ・代表児童のタブレットPCのテンプレートにまとめる
- 例）偏った食事、動かない、ずっと起きている、運動をしないなど
- ・がんになったひとの2 / 3 がなくなるのはなぜ
- ・がん検診
- ・ビデオメッセージの視聴

伊勢みずほさんの講演

杉崎弘周：がん教育をテーマとした小学校での実践（1）、体育科教育、69（4）、74-77、2021  
杉崎弘周：がん教育をテーマとした小学校での実践（2）、体育科教育、69（5）、64-67、2021

### 授業の結果

	授業前	授業後	1か月後
がんをこわいと思う	70.3%	47.2%	38.2%
がんは治療で治ると思う	10.8%	63.9%	50.3%
がんは予防できると思う	59.5%	86.1%	76.5%

杉崎弘周：がん教育をテーマとした小学校での実践（1）、体育科教育、69（4）、74-77、2021

杉崎弘周：がん教育をテーマとした小学校での実践（2）、体育科教育、69（5）、64-67、2021

83

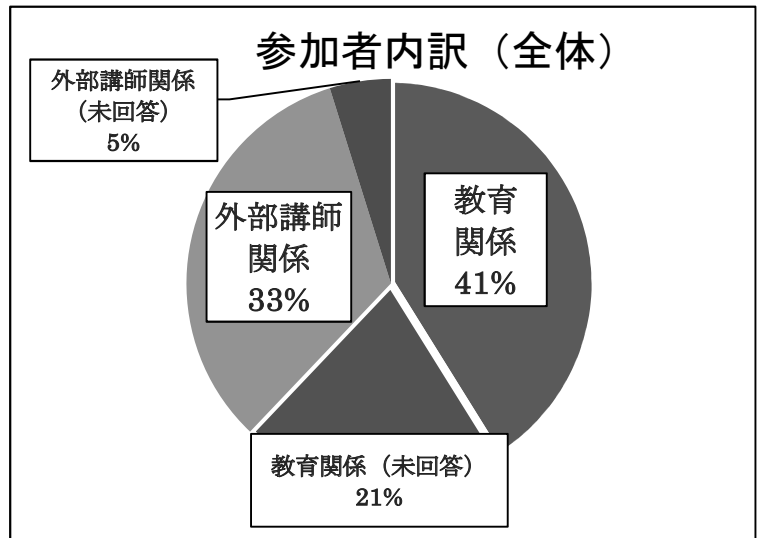
# 令和5年度がん教育指導者研修会アンケート結果

※参加者124名のうち、参加者アンケートに回答した92名。

## <参加者について>

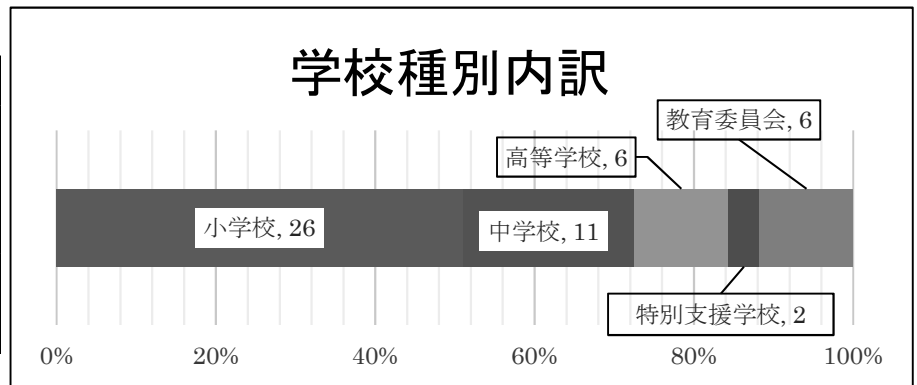
### ◎参加者内訳（全体）

分類	人数（人）
教育関係	51
外部講師関係	41
未回答	教育関係 26
	外部講師関係 6



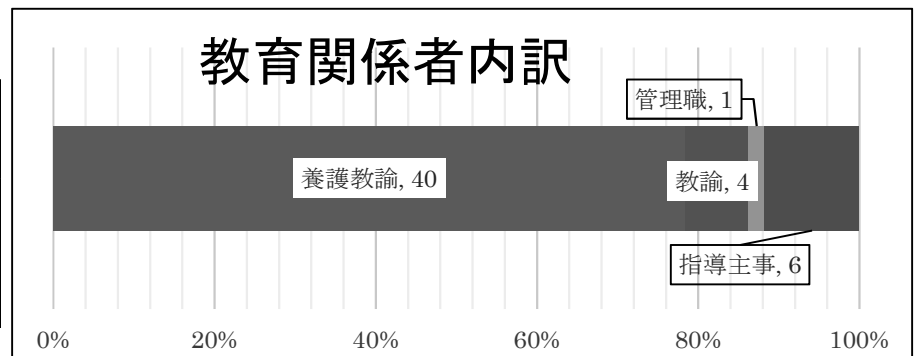
### ○学校種別内訳

分類	人数（人）
小学校	26
中学校	11
高等学校	6
特別支援学校	2
教育委員会	6



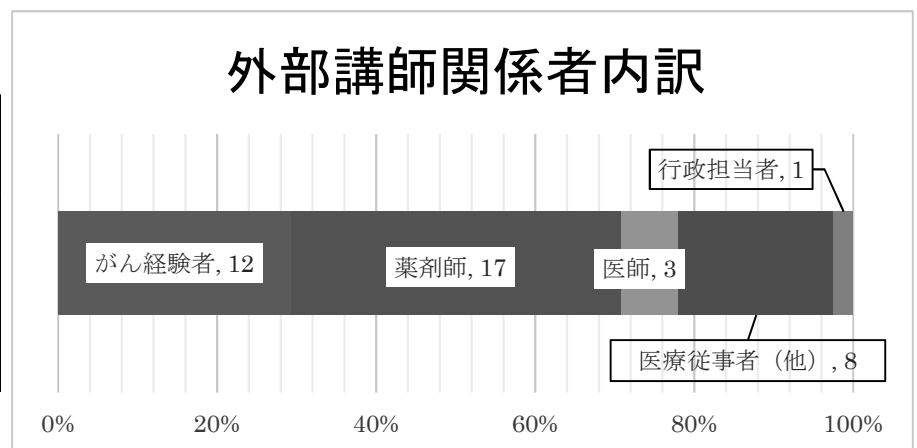
### ○教育関係者内訳

分類	人数（人）
養護教諭	40
教諭	4
管理職	1
指導主事	6



### ○外部講師関係者内訳

分類	人数（人）
がん経験者	12
薬剤師	17
医師	3
医療従事者（他）	8
行政担当者	1

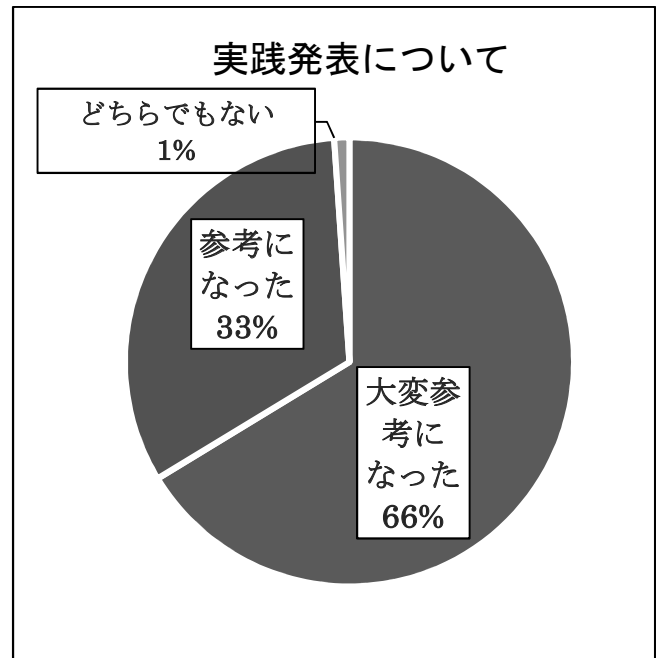




## <実践発表について>

### ◎内訳

分類	人数(人)
大変参考になった	61
参考になった	30
どちらでもない	1
参考にならなかった	0



### ○教育関係者 ※一部抜粋

- ・小学校のがん教育について、保健や特活を横断的に計画する事例が参考になった。内容についても既存の指導内容を関連付けることでがん教育になり得ると感じた。(小学校・養護教諭)
- ・実践事例を学ぶことで授業のイメージを持つことができ、とても勉強になりました。教科等横断的な視点を持ち、まずは本校の体育(保健)・特活・道徳の実施時期の検討から始めたいと思います。授業内容もとても工夫されており、参考にさせていただきたいです。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・小学校では体育だけではなく、道徳、特別活動など教科等横断的な視点から進めていくのはいい考えだと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・対話を取り入れるなど、学習方法の工夫をし、自分事と捉えさせることの大切さを感じました。小学校の学習指導要領では「～触れるようにする」の内容であるが、その中でどのようにがん教育を進めていくか難しいと感じています。その中で「負担なく誰でも」「継続して」進めていくのにとっても参考になりました。外部講師の活用もとても効果的だと感じました。(小学校・養護教諭)
- ・校種ごとの実践を知ることができて参考になりました。単発ではなく系統的に実践することの大切さがわかりました。(小学校・養護教諭)
- ・授業の実施において、関連教科とのつながりや児童への興味関心のひきつけ方、授業方法について、大変参考になりました。(中学校・養護教諭)
- ・中学校の研究会には参加していたが、小学校、高校の具体的な実践を聞く機会がなかったため。(中学校・養護教諭)
- ・がんについて、だけでなく指導方法や配慮事項、導入の仕方など改めて参考になったので。(中学校・教諭)
- ・発達段階に応じて指導の仕方が異なることを実感できました。がん教育について、難しく捉えていたのでとても参考になりました。生徒の感想などを見る事ができたことが良かったです。(中学校・養護教諭)
- ・実際に授業で使用したプリントを掲載していただき、参考になりました。事前アンケートの実施も効果的だと感じました。(高等学校・養護教諭)

- ・自分自身学生時代にがん教育を受けた記憶がなかった為、各学校でどのようにがん教育を展開しているのか知ることができて、大変参考になった。子どもたちの反応も、大人では思いつかないような新鮮なものばかりで、非常に面白かった。(特別支援学校・養護教諭)
- ・特に高等学校の実践事例が参考になった。小・中では学習指導要領に基づいて指導することで、高校での学びがより深く実践的になると感じた。(教育行政・指導主事等)
- ・発達の段階に応じた指導の在り方について、各指導事例をもとに考えを深めることができた。(教育行政・指導主事等)

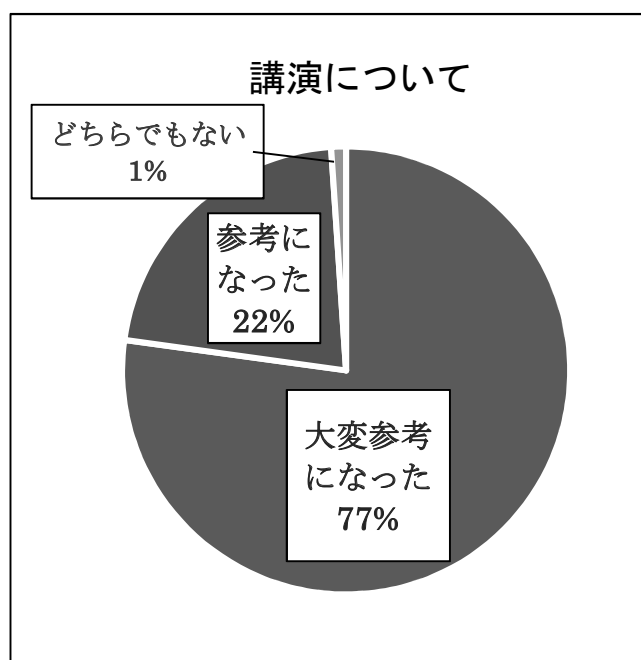
○外部講師関係者 ※一部抜粋

- ・授業を実施する際の具体的なお話を聞けて、大変参考になりました。(行政・主事)
- ・グループワークの内容や生徒の感想等も聞く事が出来た事で、教育現場でどのような進め方をしているのかイメージする事が出来た。(医療機関・医療従事者)
- ・小・中学校で外部講師として授業のお手伝いを始めました。学校が何を求めているかを考えながら進めていきたいと思えます。(がん患者団体・がん経験者)
- ・教育現場それぞれの対象の現状認識や指導者が工夫していることなどが具体的に分かった。(医療機関等・看護師)
- ・成長過程に応じて指導方法をととても勉強されている教師の皆さまの努力が詰まったスライドでした。(がん患者団体・がん経験者)
- ・小学校、中学校、高等学校での指導することになっている事項が少しずつ違うことがわかった。(医療機関・医師)
- ・実践されている先生のご意見も参考になったが、生徒たちの反応がわかってよかった。(医療機関・学校薬剤師)
- ・昨年、実際に拝見した授業の発表もあり、その分析も含めて勉強になりました(医療機関・医師)
- ・各学校とも、児童生徒の立場から理解しやすい方法を考えられて指導されていることがよくわかりました。(医療機関・学校薬剤師)

<講演について>

◎内訳

分類	人数(人)
大変参考になった	71
参考になった	20
どちらでもない	1
参考にならなかった	0



○教育関係者 ※一部抜粋

- ・がん教育を行うことの意義や実際に子どもたちへ授業を行う際のアドバイス等、たくさんの情報をいただき、とても内容の濃い講義でした。特に印象深かったのが、講演の中でありました教師の思い込みについてワークを通して気付くきっかけとなりました。講義で使われたスライドを拝見すると、子どもたちに投げかける問いがたくさんございました。これらを参考にして子ども達との対話を重ねた健康教育を実践していきたいです。(小学校・養護教諭)
- ・授業を実施するに当たっての教員側の視点や工夫やしかけなど具体的なことをたくさん学ぶことができ、非常に有意義であつという間の90分でした。納得して理解できるものばかりで、物部先生の指導力の素晴らしさを実感しました。がん教育に対して高いハードルを感じていましたが、がん教育を推進していきたいという気持ちをもつことができました。自分の分かったつもりを見つめ直し、さらに学びを深めたいと思います。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・今年度初めて県の支援事業を活用、実施することとなり参加しました。本日の講演では、実施のための最初のステップを提示していただけたように感じます。授業のねらい、関係者の理解、授業の結果など外部指導者や担当職員と事前に協議しながら成功させられたら良いかと願っています。本日はありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・児童生徒が「納得して理解する」ために学習方法の工夫をすること、がんを生活習慣病に一括りにしないこと、一次予防だけでなく二次・三次予防の指導も大切なことなど、具体的な内容で、がん教育を行う上で大切なことを確認することができました。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育をするにあたっての心構え、学習指導要領の確認についてなどたくさんの資料をもとにお話ししていただき大変参考になりました。(小学校・養護教諭)
- ・本日は、ご指導いただきありがとうございました。物部先生の丁寧でわかりやすいご指導のおかげでがん教育の大切さを改めて感じました。子どもの心に響く授業実践のアドバイスや配慮事項などもご指導いただき大変勉強になりました。本日、勉強させていただいたことを生かして本校のがん教育を充実させていきたいと思います。そして日々、養護教諭として子どもたちに命の大切さを伝え続けていきたいです。子どもたちの健康そして輝く未来のためにがんばります。本日は、ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・効果的な発問の仕方についてわかりました。自分自身にも「わかったつもり」があるので、自分自身も勉強しなくては、と思いました。配慮の方法を具体的に知ることができてよかったです。(小学校・養護教諭)
- ・授業の進め方導入時のクイズ参考になった。家族などにがん患者がいる場合、家庭にアンケートを取ったりすることも大切だと思いました。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育の意義について、エビデンスを交えながら理解しやすいお話でした。(中学校・養護教諭)
- ・Q&Aのレベルが高く、ゆさぶられる質問の連続でした。知っているつもりだった自分の現状を理解できました。(中学校・養護教諭)
- ・がん教育を進める際のポイントや、実践について具体的に説明いただいたことと、教員自身ががんについての理解を深めることの大切さを学ぶことができました。(中学校・教頭)

- ・生徒と同じ質問を投げかけられることで、生徒の目線で考えることができました。また、ただ聞くだけでなく、対話型の学習方法はとても面白く、私も取り入れてみたいと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・全員が同じ理解をできるわけではない中で、確実なことは伝えていく必要があること。そのためには教えていく側の教員の勉強が大変必要だと感じました。(高等学校・養護教諭)
- ・がん教育のみならずすべての授業・健康教育に通じる理念を改めて確認することができた。クイズ等も多くあり勉強になった。(高等学校・養護教諭)
- ・がん教育にとどまらず、保健の授業全体も捉えてお話して頂き、非常に参考になった。やはり、授業を組み立てる際には「がんは予防できる」というところに重きを置いてしまいがちではあるが、講演の中にもあったように、予防できない原因不明のがんもあるため、そこを理解してもらえらるような授業を展開することが大切になってくると感じた。貴重なお話をどうもありがとうございました。(特別支援学校・養護教諭)
- ・子どもたちが「わかったつもり」にならないよう、指導するためのエッセンスがあり大変勉強になりました。学校での実践事例も取り組めそうなものでしたので参考にいたします。(教育行政・指導主事等)
- ・クイズなど織り交ぜていただいたことで、子どもの視点に立った授業について考えることができ、大変勉強になりました。(教育行政・指導主事等)

#### ○外部講師関係者 ※一部抜粋

- ・授業の際に注意すべき点や、授業の提案具体的な指導のアイデアについて 様々触れていたいており、大変参考になりました。(行政・主事)
- ・生徒と一緒に考えるがん教育が参考になった。(がん患者団体・外部講師関係)
- ・論理的で整合性に富む講演で大変勉強になりました。(医療機関・薬剤師)
- ・がんの原因として、生活習慣だけが強調されないように注意を払う事。外部講師として、学校が望んでいる事をお聞きする事。(がん患者団体・がん経験者)
- ・物部先生には、大変分かりやすくお話いただきました。小中学校の学習内容から、それぞれの求めているものを知ることができました。がんを防ぐための新 12 か条や、がんの原因、予防なども分かりやすくまとめて理解できました。ありがとうございます。(がん患者団体・がん経験者)
- ・一つの言葉も世代や経験で、捉え方が変わることを知り、それを踏まえて正しい知識を伝える必要性が感じられた。(医療機関・薬剤師)
- ・広い視野で、またそこからアプローチ指導するのかと目から鱗な内容もあり、がん体験者としても大変参考になりました。(がん患者団体・がん経験者)

## <感想等>

#### ○教育関係者 ※一部抜粋

- ・オンラインで対話できるこのような研修会が初めてでしたが、とても楽しかったです。会場だとなかなか発言しづらいところもありますが、先生とテーブルを囲んで講義を受けているような研修会でした。またこのような機会がありましたら、参加したいです。(小学校・養護教諭)

- ・ zoom での開催は参加しやすくよい。外部講師を招いた実践例でどのような展開の授業が行われたか、講師の講話内容(具体的)に知りたい。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育は様々な角度から考えることができ、生き方の教育にもつながっていくなど、改めてがん教育の重要さを感じました。本日、学ばせていただいたことを生かし、本校でもできることを実践していきたいと思います。子どもたちの笑顔と輝く未来のためにがんばります。(小学校・養護教諭)
- ・オンラインでの開催ありがとうございます。この暑い中出張することなく、このような素晴らしい講演を聞くことができ、遠方の指導者のお話をその場にいるように聞くことができるオンラインの講演はとても良かったです。実践校の研究授業などもオンラインでの開催ができるととてもいいです。(小学校・養護教諭)
- ・自分やパートナーが、がんになって一緒に勉強して一緒に受け止めてもらうことが難しいと思っていましたが、私自身も家族や児童生徒と共有できるよう勉強したいと思いました。ありがとうございました。(小学校・養護教諭)
- ・夏休み中にリモートで行われたので良かったです。授業の進め方、方法をあらゆる取り組みを教えていただき参考になりました。授業で使えるグラフや資料をたくさん紹介されていたので、活用していきたいです。本日はありがとうございます。(中学校・養護教諭)

○外部講師関係者 ※一部抜粋

- ・小中高の授業の実践発表、物部教授のご講演では、授業の際に注意すべき点や、授業の提案(具体的な指導のアイデア)について 様々触れていただき、外部講師関係者にとっても大変参考になる充実した内容だったと感じております。既に県に登録済みの外部講師の方々にも見ていただけたら、とても良いのではないかと感じました。(行政・主事)
- ・学校においてのがん教育は大変重要であると思うが、様々な背景があるため配慮等大切であると感じた。(医療機関等・看護師)
- ・外部講師への研修の機会を与えてくださり、感謝申し上げます。これからはしっかり学び、限りなき前進をしていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。(がん患者団体・がん経験者)
- ・外部講師として実践している方のお話も聴けるといいですね。(医療機関・学校薬剤師)

＜がん教育授業研究会資料＞

【小学校の実践】 熊谷市立太田小学校

【中学校の実践】 越生町立越生中学校

【高等学校の実践】 県立吹上秋桜高等学校



埼玉県マスコット「コバトン」

## 令和5年度埼玉県「がん教育」授業研究会(小学校)開催要項

### 1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがん教育の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月16日(木)

4 会 場 熊谷市立太田小学校  
〒360-0233 熊谷市八木田5

- 5 参加対象者 (1) 公立小学校、義務教育学校、特別支援学校(小学部設置)の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)、及び市町村教育委員会の指導主事等  
(2) 北部教育事務所(秩父支所)管内の中学校教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)  
(3) 埼玉県がん教育外部講師の登録を予定している者

### 6 日 程

- (1) 受 付 12時50分～ (中央昇降口)  
(2) 公開授業 13時20分～14時05分 (体育館)  
(3) 全体会 14時30分～14時50分 (2F多目的室)  
(4) 研究協議 15時00分～16時30分 (2F多目的室)

### 7 公開授業

学年	授業者	主 題 名 等
6年	八木 孝大 教諭	特別活動「健康な生活とかけがえのない命」 学級活動(2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成

### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	脇田 一亮
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 事	金井 孝太
埼玉県教育局北部教育事務所	指導主事	小林 良
熊谷市教育委員会教育総務課	指導主事兼保健給食係長	関谷 淳

埼玉大学教育学部  
埼玉医科大学総合医療センター  
草加市立草加小学校  
深谷市立上柴西小学校  
熊谷市立奈良小学校  
上尾市立大石中学校

准 教 授  
教 授  
校 長  
教 諭  
養 護 教 諭  
養 護 教 諭

七木田文彦  
儀賀 理暁  
小松 薫樹  
栗田 颯  
長谷川紀子  
川嶋 紅音

## 9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いいたします。
- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・来校する際には、以下の方法でお願いします。
- ・お車でお越しの際は、南門から入り、校庭に駐車してください。

## 熊谷市立太田小学校への御案内（学校ホームページ）

[熊谷市立太田小学校 \(menuma-oota-e.ed.jp\)](http://menuma-oota-e.ed.jp)





## 第6学年1組 学級活動（2）指導案

令和5年11月16日（木）第5校時  
場所 体育館  
児童数 22名  
指導者 八木 孝大

### 1 題材名「健康な生活とかけがえのない命」

（2）日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全

ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成

### 2 児童の実態と題材設定の理由

#### （1）児童の実態

児童はこれまでに、教科横断的に健康と命について学習してきた。

体育科保健領域「病気の予防」において、病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わりあって起きること、また、その予防のために適度な運動、食事、休養及び睡眠をとることなどによって、体の抵抗力を高める必要性について学習してきた。

総合的な学習の時間「未来の自分をもっと笑顔に」では、自己の生活リズムを振り返って改善策を考えたり、地域の方から健康の秘訣について教わったり、探究的な学習を通して、自己の生き方について考えてきたりしている。

道徳科「命の重さはみな同じ」「お母さんへの手紙」では、家族や仲間との繋がりの中で生きることの素晴らしさや、懸命に生きる生命を守り抜こうとする姿の尊さなど、様々な側面から生命のかけがえのなさを自覚し、尊重する心情や態度を育んできている。

「がん」については、日本人の死因の第1位であることを学習しているが、がんの主な要因や予防法など、詳しい内容には触れていない。

事前に実施したアンケートの結果からは、健康を大切だと考えている児童が多いことがわかる。一方で「健康であるために取り組んでいること」については半数の児童が「ない」と回答し、今の生活習慣が将来に影響すると考えている児童も41%と少ない。このことから、健康の大切さは理解しているが、自分ごととして考えたり、実生活でできることを自己選択して、行動に移したりする力に課題がある。

「がん」に関する質問については、「がんは誰もががかかる病気である」「日本人の死因の第1位である」という問いに対して誤った回答をしている児童が一定数いる。また、「自分はがんにならないと思う」という質問についても41%の児童が「思う」と回答している。このことから「がん」という名前を耳にしたことはあるが、身近な問題として捉えている児童は少ないと言える。

本学級の児童は、これまでも学び合い活動を各教科で行ってきた。本題材においても単元を通して学び合い活動を取り入れ、一人一人が「がん」を身近な課題として捉えるとともに、健康と命の大切さについて考え、主体的な行動に繋げていくことが期待できる。

## 事前アンケートの結果

	質問	はい (思う)	いいえ (思わない)
1	「がん」という病気を知っていますか。	100%	0%
	どんなイメージを持っていますか。(記述式) ・死んでしまう ・怖い ・つらい ・治らない ・重い病気 ・髪の毛が抜ける ・痩せてしまう ・病院で生活している ・好きなことができなくなる		
2	「がん」について学習は今から必要だと思いますか。	82%	18%
3	「がん」は誰もがかかる可能性のある病気である。	64%	36%
4	「がん」は進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ってしまったりすることがある。	100%	0%
5	「がん」は日本人の死因の第1位である。	55%	45%
6	タバコを吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることによって、予防できる「がん」もある。	86%	14%
7	早期発見すればがんは治りやすい。	86%	14%
8	体の調子がよい場合は、定期的に健康診断を受けなくてもよい。	0%	100%
9	がんの治療には、手術治療しかない。	41%	59%
10	がんは、痛みや辛さを我慢するしかない。	32%	68%
11	自分はがんにならないと思う。	41%	59%
12	将来タバコは吸わないでいようと思う。	100%	0%
13	いつもバランスのよい食事や適度な運動を行うなど、健康な体づくりに取り組もうと思う。	100%	0%
14	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	91%	9%
15	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	100%	0%
16	自分の健康に関心がありますか。	64%	36%
17	健康でいることは大切だと思いますか。	95%	5%
18	健康でいるために、何か取り組んでいることはありますか。	50%	50%
19	今の生活習慣は将来に影響があると思いますか。	41%	59%
20	長生きするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	100%	0%

## (2) 題材設定の理由

学校における健康教育は、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質能力を育成することを目指して実施されている。1981年から現在まで日本人の死因の第1位は「がん」であり、2019年のデータによると男性の26.7%（4人に1人）、女性17.8%（6人に1人）が「がん」で死亡している。

また、一生のうち「がん」と診断させる確率（2018年データ）は、男性65.0%、女50.2%に達し

ており、日本人の2人に1人は「がん」にかかると言われている。しかし、「がん」そのものの理解やがん患者に対する正しい認識については不十分である。「がん」について学ぶことを通して健康に対する関心を高め、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるようにすることが求められている。また、「がん教育」は「がん」を他の疾病等と区別して特別に扱うのではなく、「がん」について学ぶことで、他の様々な疾病の予防や望ましい生活習慣の確立等も含めた健康教育そのものの充実を図ることが大切である。

このようなことから、学校教育を通じて「がん」について学ぶことで、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善していく資質能力を育成することを目指したいと考え、本題材を設定した。

### (3) 本題材の指導

本題材では、「がんについて正しく理解することができる」「健康と命の大切さについて主体的に考えることができる」という2点について教科横断的な視点で学習を進めていく。総合的な学習の時間を核として、体育科保健領域、道徳科、特別活動など様々な教科を通じて、これからの社会を生き抜くために必要な資質・能力を身に付けさせたいと考えている。「がん」に対する科学的根拠については、学習指導要領に則り、中学校及び高等学校で学習することを踏まえ、小学校段階では、「がん」に対する基礎的な知識（原因、予防、早期発見、検診等）についての理解に絞って学習し、健康と命の大切さについて主体的に考える児童の育成を目指す。

また、題材を通して児童は、正解が一つではない課題に直面する。自分自身と向き合って葛藤したり、友達と学び合ったりする中で、自分にできそうなことを選択し実行できるように指導していく。「好き嫌いをなくします。」「優しく声を掛けます。」などのように言葉で書いて終わりにするのではなく、「本当にそれができるのか。」「誰のための行動なのか。」など学級全体で悩んだり再検討したりしながら、自分ごととして考え抜いたそれぞれの思いを大切にしていきたい。

## 3 評価規準

### (体育科保健領域)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こることを、言ったり書いたりしている。 ② 感染症の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めること、感染症にかかったら早めに治療を受け、安静にすることで回復を早めることが必要であることを、言ったり書い	① 病気の起こり方について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。 ② 感染症の予防について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。 ③ 心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防について、課	① 学習内容に関心を持ち、よりよく学ぼうとする意欲をもって、学習に粘り強く取り組もうとしている。 ② 他者の考えも受け入れながら進め方を工夫改善するなど、自らの学習を調整しようとしている。

<p>たりしている。</p> <p>③ 心臓病や脳卒中などの生活習慣病の予防には、適切な運動を行い、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>④ むし歯や歯周病などの生活習慣病の予防には、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤ 喫煙や飲酒は、健康を損なう原因となることを、言ったり書いたりしている。</p>	<p>題を見付け、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p> <p>④ むし歯、歯周病などの生活習慣病の予防について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p> <p>⑤ 喫煙や飲酒の害と健康について、課題を見つけ、その解決に向けて考え、それを説明したり伝え合ったりしている。</p>	
---	---	--

(道徳科)

評価の視点	
<p>【物事を多面的・多角的に考えている様子】</p> <p>命があることの喜びや可能性、命は多くの人の支えの中で守られているなどの意義について、様々な観点から考えている。</p>	<p>【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】</p> <p>自分の生活を振り返り、自分に命があることのありがたさについて考え、自分のこれからの生き方について考えを深めている。</p>

(総合的な学習の時間)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①心身の健康と生活習慣が未来の自分に影響していることを理解している。</p> <p>②心身の健康とよりよい生活習慣について調べることを通して、収集した情報を取捨選択し、文章や図表でまとめている。</p>	<p>①自分の生活習慣チェックを通して自己の課題に気づき、解決の見通しを持っている。</p> <p>②調べた情報を基に、友達の考えと比較し、文章や図表で整理したり分析したりしている。</p> <p>③生活習慣と健康との関わりについて調べたり、まとめたりしたことを、相手に伝えるように工夫して表現している。</p>	<p>①自分や家族の健康の保持増進のために、よりよい生活習慣について調べ、自分にできることを考えようとしている。</p> <p>②自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。</p>

(学級活動)

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
日常生活への自己の適応に関する諸課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健全な生活を送るための知識や行動の仕方を身に付けている。	日常生活への自己の適応に関する諸問題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合ったよりよい解決方法を意思決定して実践している。	自己の生活をよりよくするために見通しを持ったり振り返ったりしながら、自主的に課題解決に取り組み、他者と信頼し合っ てよりよい人間関係を形成しようとしている。

4 事前指導

日付	主な活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
7月下旬	・アンケート調査	○結果を集計・分析し、児童の実態を把握する。	
9月5日	・学級活動 「ピンクリボン講和」	○がんで亡くなった人が身近ににいる児童に対して配慮を行う。	☆自己の生活をよりよくするために見通しを持ったり振り返ったりしている。 【主体的態度】 〈アンケート〉
9月29日	・道徳 「お母さんへの手紙」	○学習の繋がりを意識できるように、命の大切ついてピンクリボンの方に伝える活動を行う。	
9月11日 ～ 11月13日	・体育科（保健領域） 1/8～6/8 時間 ・総合的な学習の時間 1/22～9/22	○「がん」が死亡原因の1位であることや、2人に1人が「がん」になる可能性があることを確認するとともに、「がん」について正しく知ることが重要であることを実感させる。 ○健康や命の大切さについて主体的に考え、健康の保持増進のために自己の生活をマネジメントすることの必要性を実感できるようにする。	☆生活習慣病の予防について学級や自校のデータを分析して、課題点や改善策を自分ごととして捉えて考えている。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート〉 ☆病気を予防するためには、よい生活習慣を身に付けることが大切だと理解している。 【知識・技能】 〈発言・ワークシート〉

5 単元の指導と評価の計画

(保健領域)

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わり合って起こることを理解できるようにするとともに、病気の起こり方に関わる事象から課題を見付けることができる。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 数字（太田小のかぜでの欠席者数）からどんな数を表しているか予想する。</li> <li>2 どんな時にかぜをひくのかをブレインストーミングする。</li> <li>3 かぜをひく原因をいくつかの要因に分けて整理する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜは、「健康によくない生活行動」</li> <li>「体のていこう力の低下」</li> <li>「環境の変化」</li> <li>「かぜの病原体」</li> </ul> <p>いくつかの要因が関わりあって起きること。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 太田小のかぜ以外の欠席状況を分析整理し、それぞれの要因を考える。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かぜ以外の様々な病気も、4つの要因が関わりあって起きること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 学習のまとめをする。</li> <li>6 「体のていこう力」について知る。</li> </ol>			①	観察、ワークシート
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病原体が主な原因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや体の抵抗力を高めておくことが必要であることについて、理解することができるようにするとともに、学習したことを活用</li> </ul>				観察、ワークシート (授業後)

	<p>して、予防の方法を考えたり、適切な方法を選んだりすることができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>1 「病原体当てクイズ」を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症には、空気を通して体に入るものと、病原体がついた手や食べ物などを通して体に入るものがある。</li> </ul> </div> <p>2 2つの事例から生活の良かった点について整理分析し、かからなかった秘密について考える。</p> <p>① インフルエンザ</p> <p>② ノロウイルス</p> <p>4 修学旅行にみんなそろって行きたい。感染症から体を守るために、みんなが習慣にできることを考える。</p> <p>5 学習のまとめをする。</p>	②			観察、ワークシート
3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行動が主な要因となって起こる病気には、心臓や脳の血管が硬くなったり詰まったりする病気があることや、その予防には、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることについて、理解することができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <p>1 自分自身や太田小学校の児童の生活行動を振り返る。</p> <p>2 日本人の死亡原因のグラフを分析する。</p> <p>3 悪い生活行動が続くと血管にどのような影響があるか動画で確認する。</p> <p>4 ミッション活動</p> <p>【食生活と生活習慣病について】</p> <p>【運動不足と生活習慣病について】</p> <p>【夜更かしと生活習慣病について】</p> <p>5 健康・元気宣言を書く。</p> <p>6 学習のまとめをする。</p>	③			観察、ワークシート
					ワークシート (授業後)






4	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活行動が主な要因となって起こる病気には、むし歯や歯ぐきの病気があることや、その予防には、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることについて、関連付けたりするなどして適切な解決方法を考えることができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>全校のむし歯の人数、歯肉炎と言われた人数、歯垢がある人数を知る。</li> <li>むし歯や歯ぐきの病気になりにくい生活のしかたとしてどんなことが大切かを考え、発表し合う。</li> <li>生活習慣が異なるAさんとBさんの口中の状態を予測する。</li> <li>むし歯や歯肉炎になってしまった原因と改善策についてグループで考える。</li> <li>むし歯や歯肉炎の予防策について養護教諭の話を聞く。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>むし歯や歯周病には生活習慣が深く関わっていることや、予防には口の中を生活しておくことが必要。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>学習のまとめをする。</li> <li>太田小のみんなにメッセージを書く。</li> </ol>				<p>④</p> <p>観察、ワークシート</p> <p>④</p> <p>ワークシート (授業後)</p>
5	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>喫煙、飲酒などの行為は、健康を損なう原因となることについて、なぜ健康への影響があるか、考えたことを学習カードに書いたり、友達に説明したりすることができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>飲酒や喫煙に対するイメージをブレインストーミングする。</li> <li>喫煙・飲酒について、3つの学習キーワード（急性影響・慢性影響・未成年への影</li> </ol>			①	観察、ワークシート




	<p>響)を基に調べる課題を決める。</p> <p>3 課題別に配布された資料から、健康への影響を調べる。</p> <p>4 同じ学習キーワードの友達と理由を挙げて説明し合い、自己の考えを再形成する。</p>	⑤			ワークシート
6	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙、飲酒などの行為は健康を損なう原因となることについて、理解することができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <p>1 違う学習課題の友達と交流し、喫煙、飲酒の健康を損なう要因について知る。</p> <p>2 それぞれの学びを全体で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙、飲酒が未成年で禁止されている理由や短期間、長期間に関わらず使用することで健康を損なう原因となる。</li> </ul> </div> <p>3 喫煙や飲酒にどう向き合うか、宣言を書く。</p> <p>4 学習したことを基に、喫煙・飲酒を勧められた時の対処法をロールプレイングする。</p> <p>5 学習のまとめをする。</p>			②	観察、ワークシート
			⑤		観察、ワークシート

(総合的な学習の時間)

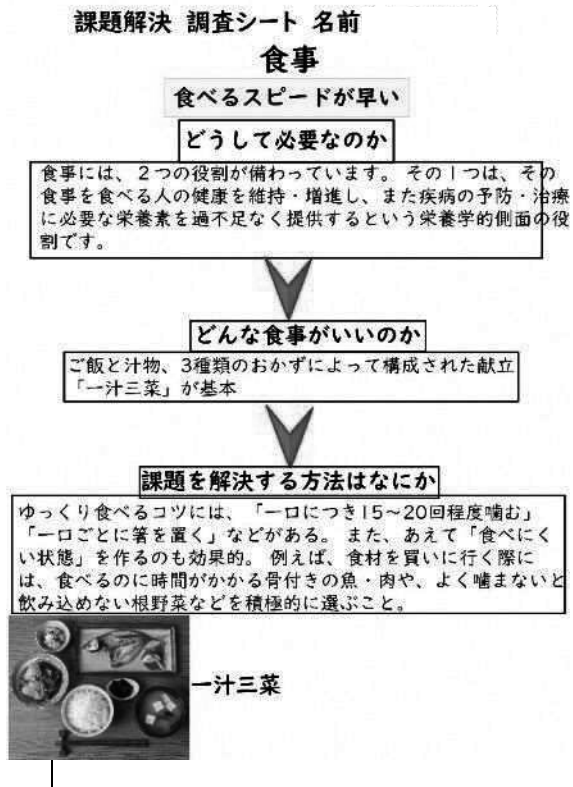
探究の過程	○学習活動 ・予想される児童の反応や姿	指導上の留意点	評価規準 方法
課題	<p>未来の自分をもっと笑顔に</p> <p>○小学生がどんな健康課題を抱えているかを考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマホのしすぎ。</li> <li>・youtube の見過ぎ。</li> <li>・夜眠れない。</li> <li>・好き嫌が多い。</li> </ul>	<p>○普段から健康な生活ができているのか振り返ることができるようにする。</p> <p>○夏休みの生活表を使って、健康な生活づくりができているかを振り返れるようにする。</p>	<p>知①</p> <p>発言 ワークシート</p>

	 <p>○健康な生活づくりをしている ゲストティーチャー（有賀さん）と 出会い、健康な生活づくりをしよう という意欲を持つ。（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どうしてこんなに元気でいられるのだ ろう。</li> <li>・ 健康の秘訣って何だろう。</li> <li>・ 健康な生活をして、長生きしたい。</li> <li>・ 自分の生活は健康ではないのかも知れ ない。</li> </ul>	<p>○話を聞いたり、質問したりするこ とで健康な生活づくりへの意欲を 持てるようにする。</p> 	<p>態① 発言 ワーク シート</p>
<p>情報</p>	<p>○1週間の生活リズムを調査する。 （1）</p> 	<p>○食事、運動、睡眠の観点から自分 の生活リズムを調査し、ワークシ ートにまとめられるようにする。</p> 	<p>態② 生活表</p>
<p>整理</p>	<p>○生活リズム調査を整理して課題をつか む。 （1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜寝る時間がすごく遅かった。</li> <li>・ スマホを使う時間が長い。</li> <li>・ 平日はほとんど運動していない。</li> <li>・ 野菜を全然食べていなかった。</li> </ul> <p>○課題に対する原因を分析する。 （1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜遅くに宿題をしていることが多いか</li> </ul>	<p>○健康な生活づくりの実態調査の結 果を分類し、健康な生活づくり における課題を発見できるようにす る。</p> 	<p>思① ワーク シート</p> <p>思③ 発言 ワーク シート</p>


	<p>ら、寝る時間が遅くなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・業間休みや昼休みに外に出ていなかったから運動時間が少なかった。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メリット・デメリット図を使って、課題が体に与える影響を見出すことができるようにする。</li> <li>○友達と自分の生活チェック表を比較させることで、課題や原因に気付けるようにする。</li> </ul>	
--	---	---	--

課題	○課題の解決方法を考え、学習課題を設定する。(1)	○何を調べるのか、どんな方法で調べるのかを話し合わせ、活動の見通しを持てるようにする。	<p>思①</p> <p>ワークシート</p>
----	---------------------------	---	-------------------------

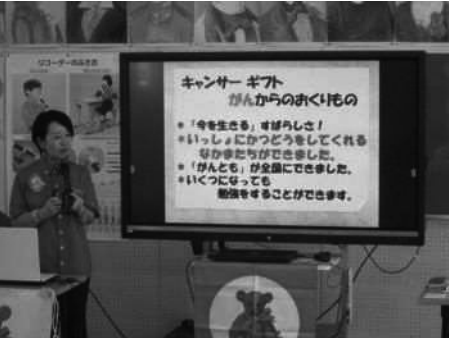
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の解決方法を調べる (3)</li> <li>・タブレット</li> <li>・図書室</li> <li>・インタビュー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「がん教育」「病気の予防」の授業と関連づけることで、多くの情報を収集できるようにする。</li> <li>○解決方法を実践すると、生活する上でどんなよさがあるのかについても調べさせるようにする。</li> </ul>	<p>態②</p> <p>ワークシート</p>
----	---	--	-------------------------



(道徳)

時	学習のねらい・活動	評価の視点
	<p>I ねらい</p> <p>○限りある生命だからこそ精一杯生きようとする態度を養う。</p> <p>II 学習活動</p> <p>①「命」がどんなものか考えて発表する。</p> <p>②「お母さんからの手紙」を読み、心が動かされたところを発表し合う。</p> <p>③「手術がんばろうね。」という主人公の言葉にはどんな思いが詰まっているのかを考える。</p> <p>④「365×14回のありがとう」自分だったら誰にどんなことを伝えたいか考える。</p> <p>⑤「どうして命は大切なのか」ピンクリボンの方にメッセージを書く。</p> <p>⑥「いのちの歌」を聞く。(福島先生)</p>	<p>【物事を多面的・多角的に考えている様子】</p> <p>命があることの喜びや可能性、命は多くの人の支えの中で守られているなどの意義について、様々な観点から考えている。</p> <p>【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】</p> <p>自分の生活を振り返り、自分に命があることのありがたさについて考え、自分のこれからの生き方について考えを深めている。</p> 

(学級活動)

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <p>○「がん」や「がん」をとりまく状況を理解し、自他の生命の大切さについて考えることができるようにする。</p> <p>II 学習活動</p> <p>【ピンクリボンの方々の講話】</p> 	○			ワークシート




<p>② 本 時</p>	<p>I ねらい ○がんやがんをとりまく状況を理解し、 自他の健康のためにできることを 考えることができるようにする。</p> <p>II 学習活動 ①バイキングで一食分を選ぶ。 ②健康によい食べ物とよくない食べ物に 分類する。 ③食生活と「がん」について、資料から 分析する。 ④どんな食生活をすればがんを予防できる のか考える。 ⑤今日の学習を振り返りこれからの自分の 生活のめあてを決める。</p>		○		<p>発表 ワークシート</p>
<p>3</p>	<p>I ねらい ○がんサバイバーの方の生き方から、 「自分らしく生きていく」とはどんな ことかを考え、未来に希望を持ち健康 から体づくりに意欲を持たせる。</p> <p>II 学習活動 ①自分らしく生きるとはどんなことか ブレインストーミングする。 ②がんサバイバー3人の方の生き方から 「自分らしく」とはどんなことかを 考える。 ③「自分らしく」をテーマに自分自身の これからの生き方について考える。 ④誰もががんになりうる社会で自分にでき そうなことを考える。 ⑤学習を振り返る。</p>		○		<p>発表 ワークシート</p>



6 本時の学習と指導（2／3）

(1) ねらい

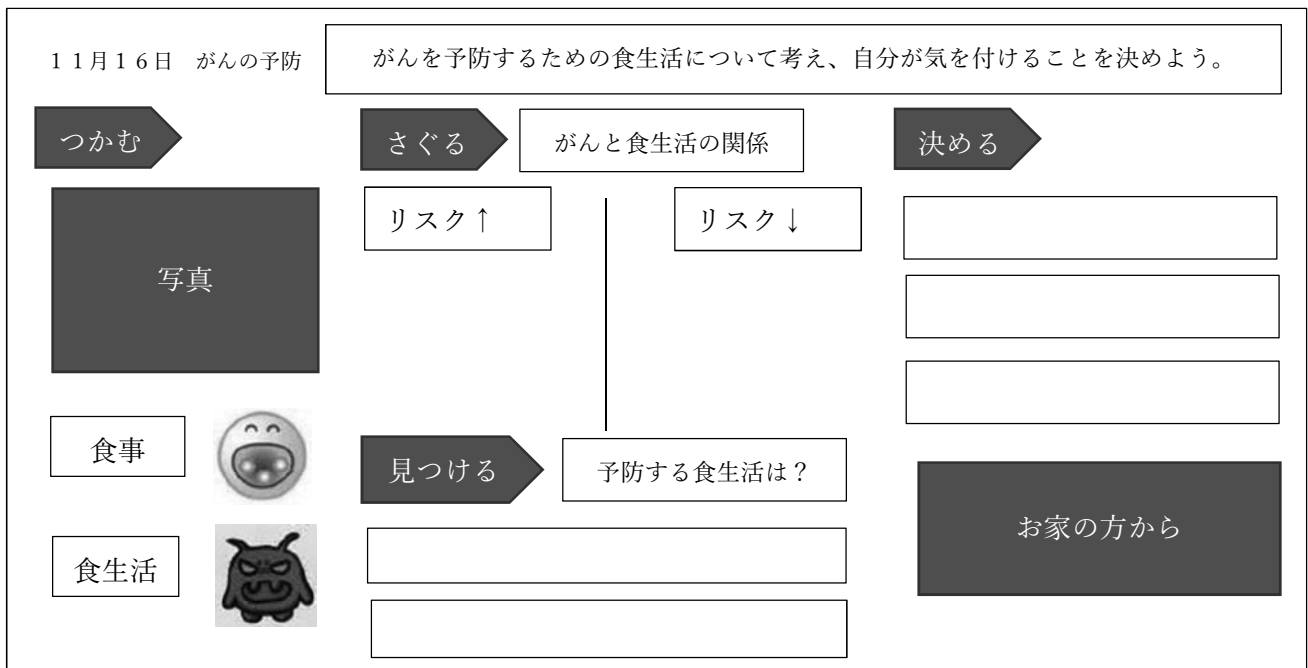
がんやがんをとりまく状況を理解し、がんのリスクを減らす食生活を考えている。

(2) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点（指導○ 評価☆）	資料等
<p>導入 つかむ 5分</p>	<p>1 マイベストショッピング ・「バイキングやまなみ」で一食分選ぶ。</p>  <p>2 本時のねらい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>がんを予防するための食生活について考え、自分が気を付けることを決めよう。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〈ゴールの姿〉 「食事」と「食生活」の違いについて理解し、がんを予防するための健康な食生活について考えることができる。</p> </div>	<p>○1食分を考えて、実際に食べられる分だけ選択できるようにする。 ○お互いに選択したものを見せ合い交流させることで、様々な意見があることに気付けるようにする。</p> 	
<p>展開 さぐる 見つける 3分5分</p>	<p>3 ミッション1 【がんと食生活の関係とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん発生の促進効果のある食生活とがん発生を抑制する効果がある食生活について資料から読み取る。</li> </ul>  <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーセージやハム、牛や豚肉は、大腸がんになる。</li> <li>・味噌汁、つけものなりやすく、たらこなど塩分が多いと胃がんになりやすくなる。</li> <li>・野菜は、食道がんや大腸がんになりづらくなる。</li> <li>・果物は、食道がんや胃がんになりづらくなる。</li> </ul>	<p>○がん細胞が増えるメカニズムをおさえる。 ○がんは誰もがなり得る可能性があることを振り返る。 ○資料①から読み取ったことを全体で共有し、人体模型図を使いながら、がんと食生活の関連について理解できるようにする。 ☆がんと食生活の関係について理解している。(知識・技能) 【学習カード・観察】</p>	<p>資料① 食生活とがんの関係 グラフ</p> <p>掲示物</p>

	<p>5 ミッション2</p> <p>【がんを予防するための食生活とは】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんを予防するためには、どんな食生活を送っていけばよいかを考える。</li> </ul> <p>&lt;予想される児童の反応&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスよく食べる。</li> <li>・野菜を毎日たくさん食べる。</li> <li>・果物を毎日たくさん食べる。</li> <li>・バランスのよい食事ってどんな食事なのだろう。</li> <li>・たくさん食べるってどのくらい食べればいいのだろう。</li> <li>・お肉は食べない方がいいのだろうか。</li> <li>・毎日野菜だけ食べていれば健康なのだろうか。</li> </ul> <p>6 メニュー調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「がん」を予防するという視点で、自分達の選んだ食品についてがんとのかん係を確認する。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「バランスのよい食事」</li> <li>「野菜の摂取量の目安」</li> <li>「果物の摂取量の目安」</li> <li>「塩分の摂取量の目安」</li> <li>「熱い飲食物の目安」</li> </ul> <p>視覚的に示すことで児童が納得できるようにする。</p>  <p>☆がんのリスクを減らすための食生活について考えている。 (思考・判断・表現)</p> <p>【発言・観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の選んだメニューを日常的に食べ続けてしまうと、「がん」とどんな関係があるのかを確認し、今後の食生活に生かせるようにする。</li> </ul>	実演
<p>終末 決める 5分</p>	<p>7 今日の学習を振り返りこれからの自分の生活のめあてを決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな食生活をしていきたいか。</li> <li>・家族にどんなことを教えてあげられるか考える。</li> </ul> <p>8 食生活について家族の方が気を付けていることを紹介する。 (事前アンケート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「がん」は生活習慣が原因ではないことを伝える。</li> <li>○食生活で細胞を傷つけてしまう可能性があることをおさえる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家族の方の思いを紹介することで児童の食生活への意識を高める。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>アンケート</p>

### (3) 板書計画



### (4) 教材・教具



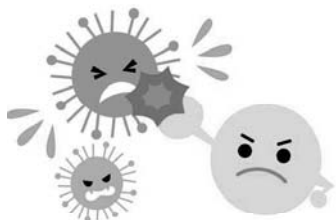


## 7 事後指導

主な活動	○指導上の留意点	☆評価の観点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族に学習したことを伝え、感想をいただく。</li> <li>・ がんのリスク減らすための食生活について家族と一緒に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家族で話をしてもらう時間を設けてもらえるよう、手紙を配付して知らせる。</li> <li>○ これからの食生活で気を付けていきたいことを、「3カ条」でまとめ、実践の継続を図れるようにする。</li> </ul>	<p>☆がんのリスクを減らすための食生活について考えたことを、家族に伝え、家庭で具体的な実践方法を3カ条でまとめて取り組もうとしている。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p style="text-align: right;">【めあてカード】</p>

## 8 お家の方からのメッセージ（事前アンケート）

- ・ 食卓に並べる。食材は彩よく栄養のバランスを考えている。
- ・ 発がん性のある物、添加物のあるものは、あまり使用しない。（ハム等の加工食品など）
- ・ オーガニックの物をよく使用する。
- ・ レトルトの物はなるべく控えるように心掛けている。
- ・ 可能な限り家族で食事する。
- ・ 肉、魚、野菜はバランスよく取り入れている。
- ・ パンよりもごはんを食べるようにしている。
- ・ 野菜は値段が高いときは、冷凍食品など安定した値段のものを使うようにしている。
- ・ 野菜を多くとれるようにメニューを考えている。
- ・ 生野菜が苦手なので、スープなどの汁物やお好み焼きなど食べやすいように工夫している。
- ・ 家の畑で採れた野菜を献立に取り入れるようにしている。
- ・ 野菜が少ないときは、野菜ジュースで補っている。
- ・ なるべく添加物があまり入っていないものを選ぶ。
- ・ なるべく手作りの物を食べる。 ・ 野菜サラダを一人一人に毎日つくるようにしている。
- ・ バランスのよい献立を考える。
- ・ 食材を使い切って捨てないようにしている。
- ・ 野菜、果物、大豆類、根菜類を多めに食べる。
- ・ 1週間に1回は魚を食べる。 ・ 野菜を細かくして、少しでも食べられるようにしている。
- ・ お肉の日は、野菜を多く食べる。
- ・ なるべく味付けは濃くならないようにしている。
- ・ 「食べた物で身体はできている。」を基本に食を考えるようにしている。
- ・ 完璧な食生活を目指すのは難しいですが、知っていることと知らないことでは大きな違いだと思います。なので、可能な限り体によい物を選択しています。
- ・ 好き嫌いをしないように、苦手なものでも味を工夫している。
- ・ 朝ご飯は必ず食べる。
- ・ 塩分、脂質少なめ。うす味、野菜多めにとれるようにしている。



## がんと食生活の関係について知ろう

名前( )

☆どんな食生活をしていきたいですか。















☆家族にどんなことを教えてあげたいですか。

☆めあてが達成できた日は、スタンプをつけよう!!

/	/	/	/	/	/	/

☆1週間をふりかえってみましょう。

☆先生から

	しよくどう 食道	い 胃	だいちよう 大腸	かんぞう 肝臓	はい 肺	にゆうぼう 乳房
食生活						
野菜 						
果物 						
肉類 						
塩分 						
熱い飲食物 						

# がん教育 年間指導計画

熊谷市立太田小学校

	1年		2年		3年		4年		5年		6年		なかよし	
	単元名	教科	単元名	教科	単元名	教科	単元名	教科	単元名	教科	単元名	教科	単元名	教科
4月		生活	大きくなあれわたしの野さい	理科	生き物を調べよう								日生 生単	身だしなみを整えよう 身の回りの整理をしよう
5月		生活	大きくなあれわたしの野さい	道徳	ヌチヌチグースージ(いのちのまつり)				理科	メダカのはんじょう			国語 自立	ひったりの言葉、みつばよう
6月	道徳 生活	生活	大きくなあれわたしの野さい	生活 道徳	昆虫の育ち方									
7月	学活	学活	楽しい夏休み	学活	わすれられないおくりもの 楽しい夏休み				道徳	おばあちゃんが残したものの (生命の尊さ)			道徳	心をつなぐ青色(希重と勇氣)  ヒマワリの種を植えよう
8月				学活 保健	ピンクリボン講話 毎日の生活と健康									
9月	学活 生活 道徳	学活	ピンクリボン講話 いももとのなかよし どきどき、とっさんぐ	学活	火事から身を守る くらしと絵文字			学活	ピンクリボン講話(学活)	総合 保健 学活			自立 総合	ピンクリボン講話(学) お母さんへの手紙(進) 会話を広げる(国)
10月 (前期)				学活	モチモチの木			学活	目の健康	総合 保健 国語			生単	病気の起こり方(保) 図に親して考えよう(国) 歌をよめるよ(国)
10月 (後期)								道徳	ハルハオの木(生命尊重)	総合 保健 国語			自立 総合	未来の自分をもっと 笑顔に！健康 生活マネ メント
11月	生活	道徳	じぶんできてるよ	道徳	ぼく(生命の尊さ)			総合	ふれあって学ぼう	総合 学活 保健			自立	がんと食生活の関係(学) 生活習慣病の予防(保) 飲酒の害と健康(保) 喫煙の害と健康(保) 喫煙防止(緑和ケア)(学)
12月	生活	生活科	じぶんできてるよ	生活科	あしたへジャンプ			国語	ウミガメの命をつなぐ	総合 保健				薬物乱用の害と健康(保) 地域の健康活動(保) 体づくり運動(体) 教えてあなたのとっておき(国)
1月	学活	生活科	おへそ話	生活科	あしたへジャンプ			国語 保健	調べてわかったことを発表しよう わたしたちの成長(2)	総合 学活				健康カルタをつくろう(学) 健康カルタ大会の計画を しよう(学)
2月	道徳	生活科	いのちがあったよ	生活科	あしたへジャンプ			道徳 総合	走れ江ノ電 ふれあって学ぼう	総合 学活 保健				健康カルタ大会をしよう 【授業参観】(学)
3月				学活	わたしの命			総合	10歳の主張(未来の自分へ)				生単	健康体操をしよう

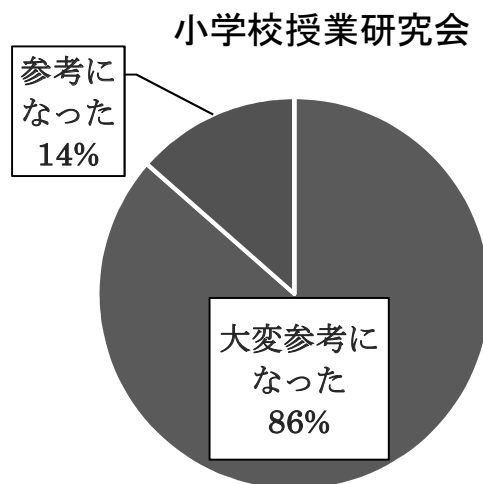
## 令和5年度がん教育授業研究会（熊谷市立太田小学校）アンケート結果

【本日の授業研究会の内容について】参加者総数76名（一般41・来賓等13・会場校22）

	大変参考になった	参考になった	どちらでもない	参考にならなかった
一般参加者（提出37名）	39	12	0	0

※一般参加者37名の内訳

校長5、教諭4、養護教諭16、外部講師関係1、学校歯科医1、学生10



### ○授業研究会（公開授業・研究協議等）について ※一部抜粋

- ・本日は食生活からであったが、単元計画をみると複数の教科・視点からの学習が計画されており、その学びの積み重ねが自他の命を大事にし、健康的に生きていく人を育むことにつながるのだと思う。（小学校・校長）
- ・タブレットや資料を活用して、授業の流れの場面に応じて対応していた。興味・関心のあるものを選択するなど、教材作りが工夫されていた。「がん」を予防するために、どのような食生活をしたらいいか、考えさせていた。（中学校・校長）
- ・年間指導計画に沿って、がん教育を発達段階に応じ全校で取り組んでいることが参考になりました。本日の公開授業も教科横断的で、オーセンティックな取組で児童が自分事と捉えていました。（小学校・校長）
- ・修学旅行前に、バイキングという、自分事として捉えられる切り口でした。保護者との関わりもあり、子どもと保護者の相乗効果が生まれる授業でした。（小学校・教諭）
- ・特活ですが、家庭科での学習が下地にあり、とても深い学びを感じました。（小学校・養護教諭）
- ・公開授業において、ゴールの姿をミッションとして具体的に示す方法を他教科でも活用できると思いました。児童にとって関心の高い食事からよりよい生活を考えていくという視点についても自分事として捉えるよい機会だと感じました。（小学校・教諭）
- ・実生活と「がん」の関連付け、知って行動に移すといった学習の流れがすばらしいと感じました。（小学校・養護教諭）

- ・掲示物なども写真や実際の具体物を出すことで、目で見て、とてもわかりやすいし、何より子どもたちがとてもワクワクしながら授業を受けている様子が伝わってきました。(小学校・養護教諭)
- ・学級活動における、がん教育の進め方について大変参考になりました。外部との連携、家庭との協力、児童自ら実践できる学びにつながる授業であったと思います。(小学校・養護教諭)
- ・研究協議では外部講師の活用と配慮を要する児童生徒への対応について、色々なケースを聞くことができ、大変参考になった。(中学校・養護教諭)
- ・課題を発見し、解決していく過程で子ども自身が食生活の見直し、実践していこうとする意欲が感じられました。(中学校・教諭)
- ・子どもたちが考え(見つけ)、決めていくのは大事なことだと思った。(外部講師関係)
- ・保護者の方の声を授業に加えることで、家庭での会話にもつながってよいなと思いました。(学生)
- ・がん教育の授業で、今回ほど沢山の教具や体験活動を取り入れているものは初めてでした。(学生)
- ・振り返りでは、お菓子など自分の食生活に当てはめて考えている児童もおり、学んだことを生かそうとする姿勢が見られてすばらしいと思いました。(学生)

#### 【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋

- ・保護者を巻き込んでの取組で、子ども・家庭・地域に浸透する素晴らしい取組だと思えます。(小学校・校長)
- ・食育、学校保健、生活等を子ども達がしっかり学び、健康教育を広げていくことが大切だと思いました。また、自己肯定感を高めることが、よりよい生活の選択ができると思えます。(小学校・養護教諭)
- ・外部講師との連携、充実について意見が伺え、貴重な時間となり、ありがとうございます。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育について具体的にどのようにするべきなのか、知りませんでした。実際に今日見せていただいたことで、子ども達の健康を守る上でとても重要だと改めて考えさせられました。本校に戻り、今日学ばせていただいたことを生かしていきたいと思えます。(小学校・養護教諭)
- ・がん教育の実施の難しさを感じていましたが、本日の発表・資料から命の大切さ、病気の予防、心の健康の指導、教科等の中で、がん教育に視点を置いて指導実施を進めていくことを学ぶことができました。(小学校・養護教諭)
- ・熊谷市の中学1年生に実施している生命の授業や PTA 対象の乳がんセミナーは生徒にも保護者にも大変好評であるので、他市にも広めていただきたい。(中学校・養護教諭)
- ・教科横断的に扱い、既習学習で積み上げた知識・理解があることが素晴らしいと思えました。使用した資料、教材等が外部機関、専門機関と連携したもので、説得力もあり、良かったです。(中学校・養護教諭)
- ・がんには予防できるものと完全に予防できないものもあるということと、毎日美味しく楽しく食べることなど「前向け」「プラス」の情報も不可欠だと感じました。(中学校・養護教諭)
- ・教科等横断的に実施できるように、計画を作成するべきだと改めて思いました。(小学校・養護教諭)
- ・「生命の授業」を受けてから、がんと食生活について学んでいくことの大切さを感じました。(外部講師関係)
- ・子供達が本日の授業を通して自分の健康作りに食事の大切さ、どう食事を取り入れその中から塩分、糖分について学ぶことができたことは大切なことと思えました。(学校歯科医)
- ・がんの疾病概念だけでなく、他の生活習慣と結び付けて行うことで、より身近にがんを感じることもできると思いました。(学生)

## 【授業の様子】



## 【全体会・研究協議の様子】



## 令和5年度埼玉県「がん教育」授業研究会(中学校)開催要項

### 1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがん教育の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年11月1日(水)

4 会 場 越生町立越生中学校  
〒350-0404 入間郡越生町成瀬618

5 参加対象者 (1) 西部教育事務所管内の小中学校、義務教育学校並びに県立中学校及び公立特別支援学校(中学部設置)の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)  
※入間北部地区の中学校については各校1名  
(2) 西部教育事務所管内市町村教育委員会の指導主事等  
(3) 埼玉県がん教育外部講師の登録を予定している者

### 6 日 程

(1) 受付	13時10分～	(給食ホール)
(2) 公開授業	13時40分～14時30分	( " )
(3) 全体会	14時45分～15時05分	( " )
(4) 研究協議	15時05分～16時30分	( " )

### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	高橋 寿弥 教諭	保健体育(保健分野) 「(1)健康な生活と疾病の予防」 (ウ)生活習慣病などの予防

### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	大松 武晴
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	遠井 学
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	澤村 文香
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 査	峰岸 宏次
越生町教育委員会学務課	指導主事	原 健史



埼玉大学教育学部  
埼玉医科大学総合医療センター  
熊谷市立玉井中学校  
川口市立小谷場中学校  
上尾市立大石中学校

准教授  
教授  
校長  
教諭  
養護教諭

七木田文彦  
儀賀理暁  
今村美己  
赤木昂介  
川嶋紅音

## 9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いいたします。
- ・お車でお越しの際は、案内に従い、給食ホール裏に駐車してください。

### 越生中学校への御案内

#### 【電車・バス】

- 東武越生線『越生駅』・JR八高線『越生駅』下車 徒歩約40分  
ときがわ町バス越生駅線「弘法山下」下車 徒歩約15分

#### 【自家用車】

- 関越自動車道『坂戸スマートIC』から約15分
- ※越生町立越生中学校周辺地図については別紙参照

※省略しています。

# 保健体育科（保健分野）学習指導案

令和5年11月1日（水） 第5校時  
越生町立越生中学校 給食ホール  
第2学年 71名  
授業者 教諭 高橋 寿弥  
外部講師 黒崎 亮

## 1 単元名 「健康な生活と疾病の予防」（ウ）生活習慣病などの予防

### 2 単元について

我が国において、がんは、昭和56年（1981年）より死因の第1位であり、平成27年（2015年）年には、年間37万人が亡くなり、生涯のうちに約2人に1人ががんにかかるとされている。第4期がん対策推進基本計画では、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」ことを目標としている。また、世界保健機関によれば、「がんの約40%は予防できるため、より積極的にがん予防を進めていくことによって、避けられるがんを防ぐことが重要である。」と明記されている。重要な観点として、がんのリスクの減少（1次予防）および国民が利用しやすい検診体制の構築、がんの早期発見・早期治療（2次予防）の促進を図るとともに予防・検診に関する取組を進めることが挙げられる。そのため、生徒に1次予防の観点に着目させ、生徒自身の生活習慣を見直し、より具体的な対策について考えさせるとともに、正しい知識を身につけ、今予防することが将来の健康につながることを理解させたい。

「健康な生活と疾病の予防」については、中学校3年間を通して扱うこととなっており、第1学年で「健康の成り立ちと疾病の発生要因」及び「生活習慣と健康」、第2学年で「生活習慣病などの予防（本単元）」及び「喫煙、飲酒、薬物乱用と健康」、第3学年で「感染症の予防」及び「健康を守る社会の取組」を学習する。本単元「生活習慣病などの予防」では、これまでに学習してきた、「健康の大切さや健康によい生活。病気の起こり方や予防など。（小学校）」、及び「主体と環境の要因が関わる健康の成り立ちと疾病の発生。適切な運動、食事、休養及び睡眠などの調和のとれた生活習慣による健康の保持増進。（中学校第1学年）」を生かして、「生活習慣病及びがんの予防」について理解を深めていく。また、本単元は、高等学校で学習する「生活習慣病などの予防と回復」へとつながっていく単元である。

そこで本教材を通して、がんとはどのような病気なのか、がんを予防するための生活習慣とはどのようなものかを知り、さらに2次予防（がん検診等）の重要性も理解させたい。そして、自己の生活課題を見だし生活習慣を見直すことで、自らの健康を適切に管理し、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基盤の育成を図りたい。

### 3 生徒の実態

#### (1) 知識及び技能

事前に行ったアンケートでは、がんは誰もがかかる可能性のある病気だということを理解している生徒が多いものの、生活習慣との関わりや治療法などについての知識が少ない生徒が複数名いることが分かった。ただ、全体的にはがんの学習が重要だと感じている生徒がほとんどであり、自分や周りの大切な人の健康を願う生徒が多い。

(2) 思考力、判断力、表現力等

保健の授業では、意欲的に意見交換をする姿が見られ、ワークシート等から必要な知識を得て、自己の課題を見付けることができる生徒が多い。しかし、対話的な活動に対して消極的な生徒もいる。

(3) 学びに向かう力、人間性等

本学年は、素直で優しい生徒が多く、他者の立場にたって思いやりのある行動ができる生徒が多い。挨拶や返事もしっかりとでき、男女間の仲も良好である。本学習においては「がん」を自分事として捉えてはいるものの、今現在が健康であるが故に、自分の生活に活かそうとする意識が希薄になることが予想される。

事前アンケートの結果等（令和5年10月実施）〈回答者数 62名〉

1) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質 問	正しい	誤り
a	がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	61	1
b	がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	62	0
c	がんは日本人の死因の第2位である。	45	17
d	たばこは吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	56	6
e	早期発見すれば、がんは治りやすい。	59	3
f	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	1	61
g	がんの治療法には手術治療しかない。	12	50
h	がんの痛みは我慢するしかない。	5	57

2) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質 問	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思 わない
a	自分はがんにならないと思う。	5	17	19	21
b	将来、たばこは吸わないでいようと思う。	55	4	1	2
c	日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	36	25	1	0
d	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	31	23	6	2
e	がんの治療法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	8	17	16	21
f	がんになっても生活の質を高めることができる。	6	17	16	22
g	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	34	27	1	0
h	がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。	28	23	9	2
i	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	60	2	0	0
j	長生きするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	45	16	1	0

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

我々の身近な病気である『がん』はこれまでの保健の学習でも扱う単元があり、自分自身のこととして捉えられている生徒は多い。がんは身近な病気であり、がんの仕組みや予防、早期発見、がん検診等の正しく理解し、日々の生活習慣の乱れ等が、がんにかかるリスクを高める原因になるということを生徒に理解させたい。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

自分自身の生活を振り返らせ、がんや生活習慣病の要因になりそうなものを生徒同士で考え、意見交換をし、考えを深める時間を大切にしたい。また、定期的ながん検診を受診することの重要性や、患者の気持ちになって治療法を考えていくことの大切さをグループワーク、医師の話などによって、実践的に理解する機会にしたい。

##### (3) 学びに向かう力、人間性等

がんを含む生活習慣病などは現在の生活とも関わりが深い問題であり、思春期のこの時期に適切な生活習慣を身に付けさせる重要性を理解させたい。自分事として捉えられるようワークシート等を工夫し学習を展開したい。また、外部講師を活用し、実際の臨床の経験等を話してもらい、現状を知り、がんに対する意識を高め、積極的に授業に取り組めるよう働きかけていきたい。

#### 5 単元の目標

- (1) 生活習慣病などの予防について、理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 生活習慣病の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 生活習慣病などの予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

#### 6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できること、不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。 ② がんの仕組みや予防、早期発見について学んだことを振り返り、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための知識を身につけている。	① 生活習慣病などの予防について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、個人の生活と関連づけたりして、自他の課題を発見している。 ② がんの仕組みや予防、治療法等について学んだことを活用して、自分の「現在」及び「将来」の生活習慣や行動について考え、できることをまとめたり、伝え合ったりしている。	① 生活習慣病の予防やがん検診、がんの治療法などについて、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。

7 単元の指導と評価の計画（全3時間）本時は○印

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1 生活習慣病の起り方・予防	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できること、不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まることについて理解することができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>望ましい生活習慣について考える。</li> <li>生活習慣病は、日常の生活が要因となって起こる疾病であること、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが健康に及ぼす影響について知る。 がんの仕組みや予防、早期発見、がん検診の重要性について知る。</li> <li>本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ発表する。</li> </ol>	①	①		<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できること、不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、様々な生活習慣病のリスクが高まることについて、理解したことを言ったり書いたりしている内容を【観察・ワークシート】で捉える。〈知-①〉</li> <li>生活習慣病などの予防について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している内容を【観察・ワークシート】で捉える。〈思-①〉</li> </ul>
2 がんについて	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病などの予防について、それらに関わる事象や情報などを整理したり、日常生活と関連付けたりして、自他の課題を発見できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返り、改善すべき生活習慣について考える。</li> <li>がんについての基礎知識を学習する。</li> <li>調べたことをもとに、グループ内で学び合いを行う。</li> <li>本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ発表する。</li> </ol>		②	①	<p>② がんの仕組みや予防、治療法等について学んだことを活用して、自分の「現在」及び「将来」の生活習慣や行動について考え、できることをまとめたり、伝え合ったりしている。〈思-②〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病などの予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている状況を【観察・ワークシート】で捉える。〈態-①〉</li> </ul>

<p>③ が ん に つ い て</p>	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習を振り返り、がんについての知識を深め、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための知識を身につけることができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アンケート結果とグループワークの結果をみんなで確認する。</li> <li>2 黒崎先生からの講評と講話を聴く。</li> <li>3 本時の学習を振り返り、ワークシートにまとめ、発表する。</li> </ol>	<p>②</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの仕組みや予防、早期発見について学んだことを振り返り、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための知識を身につけている状況を【観察・ワークシート】で捉える。〈知-②〉</li> </ul>
--	--	----------	--	---

8 本時の学習と指導 (3/3)

(1) ねらい

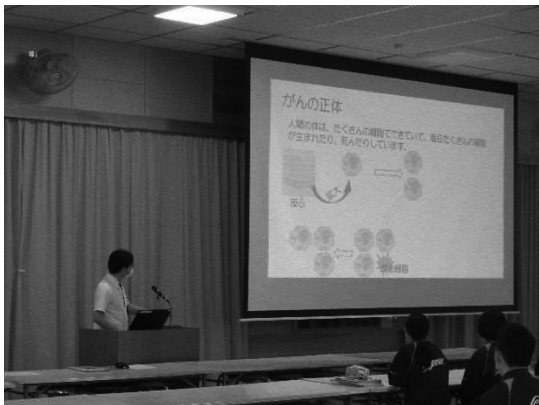
- ・がんの仕組みや予防、早期発見について学んだことを振り返り、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための知識を身につけることができるようにする。 <知識及び技能>

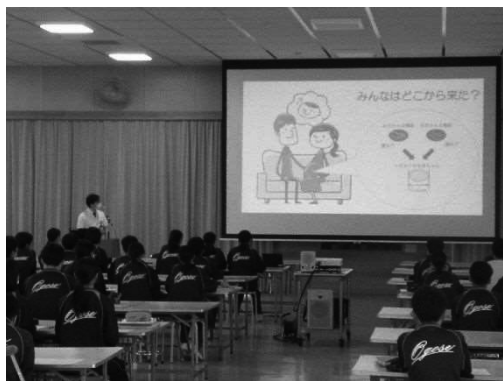
(2) 準備

- ・学習ノート ・ワークシート ・スライド等の資料 ・スクリーン ・ホワイトボード ・マグネット

(3) 本時の展開

時間	学習内容 ・ 活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 5分	1 挨拶  2 講師紹介  3 本時の学習課題を確認する。	○前時の学習を振り返り、学んだ内容をもとに積極的に取り組むよう促す。  ○本時の課題を確認し、学習の見通しをもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>めあて：がんについての知識を深め、今後の生活に生かそう</b> </div>		
展開 ① 30分	4 アンケート、グループワークの内容を振り返る。  5 講師の講話 ①アンケートとグループワークの結果に対するアドバイス。 ②がんに対する知識を深める話を専門家からきく。 内容：がんの予防、検診の意味、がんの治療、ピンクリボン運動 ③がん患者の思いをきく。	○資料やグラフから読み取り、調べる内容を明確に意識できるようにする。 ○資料を活用し、まとめた内容を分かりやすく発表できるようにする。 ○発表後、発表した内容について教員が補足する。 ○他の班の発表を受けて、気づいたことをワークシートにメモするように促す。  ○講話中に、メモをとりながら聴くよう促す。 ○前時に自分たちが考えた内容について専門家からのアドバイスを通して、考えを深める。 ○医師という立場からのお話を聴くことで生徒が、がんに対する知識を得る機会とする。  ○医師としてがん患者と向き合う経験を通じたがん患者の思いをきき、生徒のがんの予防、早期発見の大切さについての意識を高める。





◆がんの仕組みや予防、早期発見について学んだことを振り返り、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための知識を身につけることができるようにする。  
 (観察・ワークシート) 【知識・技能】

△「努力を要すると判断される状況」

(C) の生徒への手立て (支援)

机間指導を行いながら、気づきを促すための声かけを行っていく。

◎「十分満足できると判断される状況」

(A) の生徒の具体的な姿

自分が調べた内容を意欲的に発表している。他者の意見を取り入れ、より良い予防策を考えることができている。

ま  
と  
め

6 質疑応答

・ 2～3名程度

15分 7 本時のまとめ

まとめ

- ・ 望ましい生活習慣はがんのリスクを下げることに繋がる。また、早期発見、早期治療、検診等も予防策として挙げられる。
- ・ がん患者の思いを汲み取りながら治療法などを決めていくことが重要。

8 振り返り



9 挨拶

○本時のまとめを行い、がんを予防するための望ましい生活習慣や検診の必要性、治療法や患者の思いについて再確認する。

○まとめの際、がんの発生要因は様々であることから、「がんになった人」の原因全てが「生活習慣が乱れている人」ではないことを伝える。しかし、予防策としては、生活習慣を整えることや、早期発見・早期治療、検診等であることを伝える。





# “がん”ってどんな病気？

# ～ 各班の考え紹介 ～

前回のグループワークで出た考えを紹介します！

テーマ	あなたの大切な人の生活習慣を改善するためのアイデアを考えよう	あなたの大切な人にがん検診をすすめるキーワードを考えよう	治療法を決めるとき大切なことは何だろう？
各班の考え	<p>1組1班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一緒に運動する。</li> <li>● バランスの良い食事を家族に作る。</li> <li>● 怒らせない。</li> </ul>	<p>1組2班</p> <p>さあ行こう！ 危ない病気 なる前に</p>	<p>1組3班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 進み具合によって→医師・家族に相談</li> <li>● 体の負担についても考える。</li> <li>● 治療費。</li> <li>● 本人の意志。</li> <li>● 治療期間。</li> </ul>
	<p>1組4班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 声をかける（「最近～だけど大丈夫？」 「一緒に～しよう」）</li> <li>● ごほうびをつくる（「今日～したら、～手伝うよ！」）</li> <li>● はげましの言葉をかける（「これやったら足速くなれるよ！」「～を目標にして頑張ろう！」）</li> </ul>	<p>2組2班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● （親に）「長生きしてほしいから検診行って？」「これから親孝行したいから検診行って」</li> <li>● 早期発見だとリスクが下がるから…。</li> <li>● 「がんになってないって分かったほうが安心するよ？がんだったら、治せるかもしれないし…」</li> </ul>	<p>2組3班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 焦らず、医師と相談。</li> <li>● 覚悟。</li> <li>● 自分の意志を尊重。</li> <li>● 優しい言葉。</li> <li>● 寄り添う。</li> <li>● 前向きになる声掛け。</li> <li>● 生きる大切さ。</li> <li>● あきらめない。</li> <li>● 積極的な提案。</li> </ul>
	<p>2組1班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Nothing たばこ。</li> <li>● 早寝早起き朝ごはん（いいことがあるよ）</li> <li>● 元気いっぱい運動（汗かくの気持ちいいよ）</li> <li>● 三食必ず！！（元気になるよ）</li> <li>● アル中にならない（体健康になるぞ）</li> </ul>	<p>2組4班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 早期発見・早期治療。</li> <li>● とりかえしのつかないことにならないように、早めにがん検診しよう！！</li> <li>● 念のため受診しておこう！！</li> </ul>	<p>3組3班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際になった人の意見を聞く。</li> <li>● 身近な人と話し合う。</li> <li>● 自分に応じた治療法にする。</li> </ul>
	<p>3組1班</p> <p>～健康大事～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● がんについて話して嫌にさせる。</li> <li>● 一緒に運動する。</li> <li>● 物でつる。</li> <li>● ルールを決める（破ったら罰）</li> <li>● ストレスをためないように相談にのったり、ストレス発散。</li> </ul>	<p>3組2班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 長生きしてほしい。</li> <li>● まだ一緒にいたい。</li> <li>● 苦しんでほしくない。</li> <li>● 楽しい時をすごしたい。</li> <li>● 早期発見しないと治せないから受けて。</li> <li>● 初回無料。（だったら行きやすそう…）</li> <li>● 天国に行ってほしくない。</li> </ul>	<p>3組4班</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 家族とよく話し合う。</li> <li>● いろいろな治療を知っておく（どんながんか）。</li> <li>● 医師ともよく話し合う。</li> <li>● 落ち着いて決める。</li> <li>● 自分の気持ちを大切に作る。</li> </ul>

前回考えたことを思い出しながら  
黒崎先生のご講話を聞いて  
知識をより深めていこう。



～がんについて～

黒崎先生 ご講話

月 日

2年 組 番 氏名：

大切だと思ったことをメモしよう！

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 黒崎 亮 先生 「がんのお話」

がんについての学習を通して、学んだことは何ですか？

授業を振り返って感じたことを書いてみよう

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

今日の授業で学んだことが未来につながりますように・・・

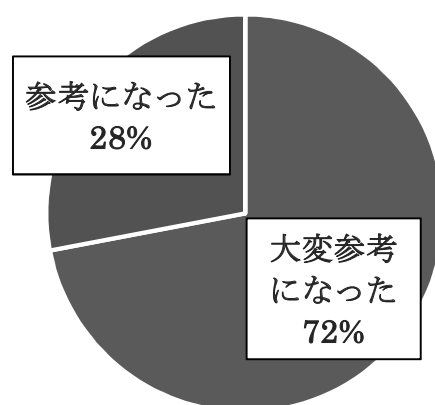
## 令和5年度がん教育授業研究会（越生町立越生中学校）アンケート結果

【本日の授業研究会の内容について】参加者総数45名（一般27・来賓等13・会場校5）

	大変参考になった	参考になった	どちらでもない	参考にならなかった
一般参加者（提出25名）	18	7	0	0

※一般参加者25名の内訳：教頭2、教諭4、養護教諭9、指導主事1、外部講師関係2、学生7

### 中学校授業研究会



#### ○授業研究会（公開授業・研究協議等）について ※一部抜粋

- ・がん＝大人ではなく、早い段階で知識を身に付け、意識付けさせることの意味がわかる授業でした。また、黒崎先生の講話もとてもわかりやすく、自校におけるがん教育へつなげられるよう検討したいと思いました。（中学校・教頭）
- ・普段、保健分野の授業を行う上で、本日の公開授業のように、より細かく、具体的なデータをもとに実践ができていないというのが現状です。現役の医師に患者さんの生の言葉や様々な説明をしていただくことで、こんなにもわかりやすく、魅力的な授業に変わるのだと強く感じた。（中学校・教諭）
- ・越生町を使ったり、大切な人のためにという言葉を使うことで生徒はがんを身近に感じる事ができたと思った。（中学校・教諭）
- ・養護教諭と保健体育科の先生で協議をすることがなかなかなく、意見を交換できてよかったです。（中学校・養護教諭）
- ・子どもたちが自分事として捉えた上で、子ども同士で対話できると学びが深まるのだと思った。（教育行政・指導主事）
- ・子どもたちから活発な質問が飛びかったのも、これまでの学びの効果や外部講師の専門的な指導があったのことでと考え、大変参考になりました。（中学校・養護教諭）
- ・生徒が、がんについての正しい知識を理解し、今後の人生において適切な行動や態度をとることができるよう、本日の研究会での学びを学校に持ち帰り、共有したいと思います。（中学校・養護教諭）
- ・家庭でも子どもたちが今日の話が家族に伝えることで、この授業の学びが深まるのではないかと思います。（中学校・養護教諭）

- ・黒崎先生のスライド、話がとても分かり易かった。生徒の皆さんが、とても前向きに取り組んでいて、質問の内容もとても良かった。(外部講師関係)
- ・小中高生へのがん教育を通して、生徒たちが考えること、家族や大切な人を思う気持ち、正しい知識を早くに持つことが重要と痛感しました。生徒の活発な質疑にも感銘しました。(外部講師関係)
- ・前回の授業で、グループワークで話し合った内容について、専門家の先生に改めて触れてもらったことで、生徒にとって深い学びになっていたと感じました。また、先生のお話の中で「家に帰ったらおうちの人に話してみよう」や、「もし家族ががんになったら」というように、子どもたちが自分事として考えるきっかけとなる言葉が多かったことが、とても勉強になりました。(学生)
- ・越生町のがん検診受診率を例示し、身近な話題となっていた。(学生)

### 【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋

- ・がんという扱いづらい内容に触れる中で、外部講師の方の実際の話を取り入れていくことはとても良いなと思いました。外部講師の方と連携していく場合には、目的やねらいをしっかりとすり合わせていくことが大切だなと思いました。(中学校・教諭)
- ・実際のがん患者が家族にいらっしゃるかもしれないと思う中でのがん教育は非常に難しいなと率直に感じました。一方で、本日のように外部講師を取り入れた授業が可能であれば、今後、取り入れていけたらよいと思いました。(中学校・教諭)
- ・自分が勉強することに加えて、養護教諭や外部指導者との連携も必要だと感じた。(中学校・教諭)
- ・現場で働かされている医師を講師とすることで、話の説得力が違うなと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・ゲストティーチャーを必要に応じて活用することで、子どもたちの学びを深められると思った。(教育行政・指導主事)
- ・今回のように、医師のお話を聴けるのはとても貴重です。対面だけでなく、オンラインでの講話が可能だともっと機会を設けやすくなると思います。(中学校・教諭)
- ・生徒の「知りたい・学びたい・今後の生活にいかしていきたい」という気持ちの高さや強さを感じました。自校の生徒にも伝え、これからのよりよい人生につなげていってほしいと思いました。(中学校・養護教諭)
- ・指導講評の先生方のお話が非常に興味深かったです。(中学校・養護教諭)
- ・がん教育のみならず、私にとって保健教育においてとても重要で、とても難しいテーマだと思っていたので、改めて考えるきっかけになりました。養護教諭の立場からどのようにがん教育に関わるか考えていきたいです。(中学校・養護教諭)
- ・外部講師の先生にお越しいただく際には、自校の生徒の実態と授業やご講演いただく内容を丁寧に打ち合わせして実施させていただきたく感じました。そのための単元計画や授業づくりをしていくことが大切であると考えます。自分自身が、あるいは家族が身近な人がかかりうる病気であるということをごだけ子供たちと一緒に考えて自他の生活と関連付けていけるか、今後の課題であると思います。(中学校・養護教諭)
- ・外部講師によって、それぞれ立場が違い、話の内容が違ってくるというお話がとても参考になりました。(学生)

## 【授業の様子】



## 【全体会・研究協議の様子】



## 令和5年度埼玉県「がん教育」授業研究会（高等学校）開催要項

### 1 趣 旨

日本人の死亡原因として最も多いがんについて、がんそのものの理解やがん患者に対する正しい認識を深める教育は不十分であり課題であると指摘されている。

この課題解決のためには、児童生徒が学校教育を通じてがんについて学ぶことにより、健康に対する関心をもち、正しく理解し、適切な態度や行動をとることができるように指導することが必要である。

そこで、学校におけるがんに関する指導の充実を図るため、発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、授業研究会を開催し、研究協議を行う。

2 主 催 埼玉県教育委員会

3 期 日 令和5年10月27日（金）

4 会 場 県立吹上秋桜高等学校  
〒369-0132 鴻巣市前砂907-1  
※駐車場はありませんので、公共交通機関で来校願います。

5 参加対象 (1) 県内公立高等学校・特別支援学校の教職員（保健体育科、養護教諭、保健主事等）  
(2) 埼玉県がん教育外部講師の登録を予定している者

### 6 日 程

(1) 受 付 13時10分～ (場所：事務室前（2階）)  
(2) 公開授業 13時30分～14時15分 (場所：化学実験室)  
(3) 全体会 14時30分～14時50分 (場所：大会議室)  
(4) 研究協議 14時50分～16時30分 (場所：大会議室)

### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	藤井 将貴 教諭	保健体育科（科目保健） 「(3) 生涯を通じる健康」 (ア) 生涯の各段階における健康

### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	松中 直司
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	坂上三四郎
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事	龍野 雅美

埼玉大学教育学部	准 教 授	七木田文彦
埼玉医科大学総合医療センター	教 授	儀賀 理暁
県立浦和東高等学校	校 長	齋藤 明博
県立草加高等学校	教 諭	大屋 将人
県立蕨高等学校	養 護 教 諭	工藤 由未
県立東松山特別支援学校	養 護 教 諭	津久井未緒

9 参加について

- ・体調のすぐれない方は、当日の参加を遠慮するようお願いいたします。
- ・上履きは必要ありません。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

## 県立吹上秋桜高等学校への御案内

※駐車場はありませんので、公共交通機関で来校願います。

※地図は省略しています。

# 保健体育科（科目保健）学習指導案

令和5年10月27日（金）第4時限 化学実験室

第2学年4組 22名

指導者 藤井 将貴

## 1 単元名 「生涯を通じる健康」（ア）生涯の各段階における健康

### 2 単元について

生涯の各段階においては、健康に関わる様々な課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする必要がある。

このため、本内容は、思春期、結婚生活、加齢の各段階において、健康、行動、生活などに課題や特徴があること、また労働の形態や環境の変化に伴った健康及び安全の課題があること、それらを踏まえ、自他の健康管理、安全管理及び環境づくりを行う必要があること、労働に関わる社会資源などを適切に活用することなどを中心に構成している。

昨年度から高等学校において年次進行で実施している新学習指導要領の「がん教育」の内容については、（1）現代社会と健康の（ウ）生活習慣病などの予防と回復で学習する。本校においては、（1）現代社会と健康の単元で、がんについて学習した上で、本単元（ア）生涯の各段階における健康の時数を7と定める中でも、そのうちの4時間は既習事項を生かしながら本単元に関連のある「がん教育」として構成するものとする。

### 3 生徒の実態

#### （1）知識及び技能

第2学年前期の「現代社会と健康」の学習で、がんについての基礎知識は既習している。しかし学力は生徒間で大きく差がある。

#### （2）思考力、判断力、表現力等

課題に対して一人一人が自分なりに考えることが出来る。しかし自分の考えを周囲に伝える行動が苦手と感じる生徒が多い。

#### （3）学びに向かう力、人間性等

周囲との話し合いや協同的な学びは積極的に行うことができる。

アンケートの結果から、「がんの学習は健康な生活を送るために重要だ」「がんの学習は健康な生活を送るために役に立つ」の項目に対して全員が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答していた。

がんについて学ぶことが自分の健康につながると理解しているので、さらにその知識を深め、個人だけでなく広い視野で捉えて、周囲の人に伝える力を引き出せるような授業展開にしていく必要がある。

事前アンケートの結果等（令和5年9月実施）〈回答者数 19名〉

#### 1) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質 問	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思 わない
a	がんの学習は、健康な生活を送るために重要だ。	9	10		
b	がんの学習は、健康な生活を送るために役に立つ。	9	10		

#### 2) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質 問	正しい	誤り
a	がんは誰もがかかる可能性のある病気である。	19	



b	がんは進行すると、今まで通りの生活ができなくなったり、命を失ったりすることがある。	19	
c	がんは日本人の死因の第2位である。	5	14
d	たばこは吸わないこと、バランスよく食事をする、適度な運動をすることなどによって、予防できるがんもある。	18	1
e	早期発見すれば、がんは治りやすい。	19	
f	体の調子が良い場合は、定期的に検診を受けなくても良い。	2	17
g	がんの治療法には手術治療しかない。	4	15
h	がんの痛みは我慢するしかない。	1	18

3) がんについての以下の質問について、当てはまるものに○を付けてください。

	質 問	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思 わない
a	自分はがんにならないと思う。	1	1	8	9
b	将来、たばこは吸わないでいようと思う。	12	3	4	
c	日頃から、バランスの良い食事や適度に運動を行うなど健康な体づくりに取り組もうと思う。	5	9	4	1
d	がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。	7	8	4	
e	がんの治療法はいくつかあるが、医師が決めるものである。	3	4	8	4
f	がんになっても生活の質を高めることができる。	3	7	6	3
g	がんになっている人も過ごしやすい世の中にしたい。	7	11	1	
h	がんと健康について、まずは身近な家族から語ろうと思う。	4	12	1	2
i	家族や身近な人が健康であってほしいと思う。	16	2	1	
j	長生きをするために、健康な体づくりに取り組もうと思う。	10	8		1

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

がん教育を通じて、生徒が将来大人になったときにがんについての知識が記憶の片隅にあるような姿を目指したいと考える。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

プレゼンテーション学習を通じて、自らが興味を持ち調べ、まとめ、発表を行うことで思考・判断・表現の能力を身につけさせ、がんをより身近な病気として捉えることができるようにする。

##### (3) 学びに向かう力、人間性等

がんについての学習に限らず、自他の健康に関心を持ち、その課題を解決し、明るく豊かで活力ある生活を営む資質や能力を育てていきたいと考えている。

#### I 学習（指導）内容の明確化

- ・1時間目：既習事項の確認を行う。テーマの構想を練る。
- ・2時間目：各テーマにそった情報を調べ学習で得る。グループごとに共有する。
- ・3時間目：各グループでスライドを作成、発表準備を行う。
- ・4時間目：自分たちのグループのテーマをプレゼンテーションで発表。他のグループの発表を聞き知識を深める。

- ・事後学習：がん患者経験談を聴き、がんにどのように向き合っていくのか自分の考えを深める。

## II 基礎的・基本的な知識の習得と知識を活用する学習活動の実践

1つのテーマについて自らがプレゼンテーションを行う活動により、様々な情報の中から必要だと思える情報を取捨選択することで知識を獲得する。またグループ内での協同的な学びにより自分だけでは獲得できなかった情報を知る。他テーマの発表を聞くことで多様な観点からがんについて一人一人が考えるようにする。

## III 学習内容を主体的に取り組ませるための教材の工夫

### ・ICTの活用

PCを活用して調べ学習を行うことにより膨大な情報を得ることができ、必要な情報を得ることが主体的な学びに繋がる。

### 5 単元の目標

- (1) 生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解することができるようにする。

＜知識及び技能＞

- (2) 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。

＜思考力、判断力、表現力等＞

- (3) 生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

＜学びに向かう力、人間性等＞

### 6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。	①生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。	①生涯を通じる健康について課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。
②がんの予防方法は、生活習慣や定期的な健康診断、正しい情報の発信が必要であること、またがん罹患した時の行動、治療と回復について理解したことを言ったり書いたりしている。	②がんの予防やがん罹患した時の行動、治療と回復についてそれらに関わる事象や情報などを整理したり、個人の生活などと関連付けたりして、自他の課題を発見している。	
③思春期における心身の発達や性的成熟に伴う（略）あること、これらの変化に対応して（略）態度が必要であること、（略）適切な対処が必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。	③がんの予防やがん罹患した時の行動、治療と回復について話し合ったり、スライドなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	
④結婚生活について（略）理解したことを言ったり書いたりしている。	④思春期と健康について、（略）整理している。	
	⑤結婚生活と健康について、（略）整理している。	

⑤中高年期を健やかに過ごすためには、(略)理解したことを言ったり書いたりしている。	⑥加齢と健康について、(略)整理している。	
---	-----------------------	--

7 単元の指導と評価の計画 (全7時間) 本時は○印

時	学習のねらい・活動	知	思	態	評価方法
1	<p><b>I ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康との関わりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択及び社会環境づくりが不可欠であることを理解できるようにする。</li> </ul> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>学習の課題 (ねらい) を知る。</li> <li>生涯健康に生きていくための方法について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>がんは日本人が2人に1人かかる病気であり、将来的に罹患する可能性が高いことを知る。そのため生涯にわたって健康に生きていくためにはがんと向き合うことは避けては通れない。がんは生活習慣病でもあるため各ライフステージにおける健康課題に対応しながら、健康的な生活習慣を日々心掛けることでがんを予防することができることについて知る。</li> </ul> </li> <li>本時の学習の復習クイズを行う。</li> </ol> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>復習クイズ後に、学習の振り返りとまとめを行う。</li> </ul>				ワークシート
2	<p><b>I ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんについてグループでテーマにそった情報を調べ、プレゼンテーションによる発表に向けて準備をする過程で様々な情報を理解することが出来るようにする。</li> </ul> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前時の復習</li> <li>学習の課題 (ねらい) を知る。</li> <li>グループで調べ学習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>もし自分たちががんに罹ったら</li> <li>がんの治療法と保険</li> <li>がんの発病原因と治療法</li> <li>がんは防げる！ ～食生活編～</li> <li>癌のステージの違いについて ～癌でなぜ死ぬの～</li> </ul> </li> </ol> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんの予防方法は、生活習慣や定期的な健康診断、正しい情報の発信が必要であること。</li> <li>がんに罹患した時の行動、治療と回復について</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>本時の学習の振り返りとまとめを行う。</li> </ol>		②	①	観察・スライド

3	<p><b>I ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんについてグループで情報を共有しながらスライドを作成することにより自分だけでは獲得できなかった知識を得る事ができるようにする。またグループで合意形成する過程で自分の考えをより深いものにする。</li> </ul> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返る。</li> <li>学習の課題（ねらい）を知る。</li> <li>グループで調べ学習を進める。</li> </ol> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんの予防方法は、生活習慣や定期的な健康診断、正しい情報の発信が必要であること。</li> <li>がんに罹患した時の行動、治療と回復について</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>プレ発表をグループごとに行う。</li> <li>本時の学習の振り返りとまとめを行う。</li> </ol>	②	②		観察・スライド
④	<p><b>I ねらい</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんの予防やがんに罹患した時の行動、治療と回復について話し合ったり、スライドを用い筋道を立てて説明することができるようにする。他の班のプレゼンを聞いてがんに対する知識・考え方を深めることができるようにする。</li> </ul> <p><b>II 学習活動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を振り返る。</li> <li>学習の課題（ねらい）を知る。</li> <li>グループの発表最終確認を行う。</li> <li>プレゼンテーションによる発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>もし自分たちががんに罹ったら</li> <li>がんの治療法と保険</li> <li>がんの発病原因と治療法</li> <li>がんは防げる！ ～食生活編～</li> <li>癌のステージの違いについて ～ 癌でなぜ死ぬの～</li> </ul> </li> <li>問題提起・課題解決 <p><b>がんと付き合いながら健康的な生涯を送るには？</b></p> <p>がんとどうやって付き合いながら健康的な生涯を送るか自分の考えを記述する。</p> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</li> </ul> </li> <li>本時の学習の振り返りとまとめを行う。</li> </ol>	①	③		観察・ワークシート・スライド  観察・ワークシート
5	(省略)	③	④		
6	(省略)	④	⑤		
7	(省略)	⑤	⑥		

※事後学習 「サバイバー（がん体験者やその家族）に話を聴く会」（保健授業）  
講師 NPO 法人くまがやピンクリボンの会 代表理事 栗原 和江 氏

8 本時の学習と指導 (4 / 7)



(1) ねらい


- ・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた 自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- ・がんの予防やがんに罹患した時の行動、治療と回復について話し合ったり、スライドを用い筋道を立てて説明したりすることができるようにする。 <思考力・判断力・表現力等>

(2) 資料及び準備するもの

タブレット端末(教師用1台、生徒用7台)、ワークシート

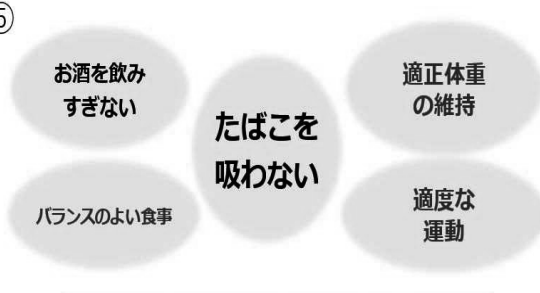
(3) 展開

時間	学習の内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
導入 5分	<p>挨拶・出席確認</p> <p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 学習の課題 (ねらい) を知る。</p>	<p>○挨拶、出欠・座席の確認をする。</p> <p>○本時の学習の流れを理解し、学習の見通しをもたせる。</p>
	<p>課題 がんと付き合いながら健康的な生涯を送るには？</p>	
展開 35分	<p>3 グループの発表最終確認(7分)</p>  <p>4 プレゼンテーションによる発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もし自分たちががんに罹ったら</li> <li>・がんの治療法と保険</li> <li>・がんの発病原因と治療法</li> <li>・がんは防げる！ ～食生活編～</li> <li>・癌のステージの違いについて ～ 癌でなぜ死ぬの～</li> </ul> 	<p>○原稿・スライドの確認をして各グループに発表できるようにさせる。</p> <p>○グループごとにスライドを利用しながらプレゼンテーションをさせる。</p> <p>○各班の発表をしっかりと聞き、メモを取るよう促す。</p> <p>◆がんの予防やがんに罹患した時の行動、治療と回復について話し合ったり、スライドなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要すると判断できる状況(C)」の生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・声掛けを行う。</li> </ul> <p>◎「十分満足できると判断される状況(A)」の生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを上手に使い、わかりやすく説明している。</li> </ul> <p>○学んだ内容から自分なりのがんへの付き合い方を考えるよう促す。</p> <p>◆生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた 自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】</p> <p>△「努力を要すると判断できる状況(C)」の生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間の発言を参考にさせる。声掛けを行う。</li> </ul> <p>◎「十分満足できると判断される状況(A)」の生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で得た知識と実際の生活行動を結び付けて、自分の考えを記述している</li> <li>・周りの意見をメモするなど、自分の考えに取り入れている。</li> </ul>
	<p>5 問題提起・課題解決</p> <p>【発問】 がんと付き合いながら健康的な生涯を送るには？</p> <p>個人で考える 班内で発表 (1人1分)</p> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていること。</li> </ul>	

<p>終末 5分</p>	<p>6 振り返り・まとめ</p>  <p>挨拶</p>	<p>○生涯を健康に送るためにはがんという病気は避けては通れないものである。そのためがんを自分事として考え授業内で深まった自分の知識や考え方を自分だけではなく周囲の人に共有することで自他の健康に繋がることを伝える。</p> <p>○次時からは、「思春期と健康」、「結婚生活と健康」、「加齢と健康」について学習することを予告し、これらの学習内容の中でも、がんについて学習してきた知識や考え方を生かせる場面があったら、効果的に活用してもらいたいことを伝える。</p> <p>○挨拶</p>
------------------	---	--

9 参考資料（文部科学省 がん教育推進のための教材 より）  
各班の発表後に、補足説明等で活用することのできる資料として用意

⑤



望ましい生活習慣はがんのリスク減

出典：国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ 科学的根拠に基づくがん予防・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン構築に関する研究を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成

治療法を決めるとき大切なこと

④

しっかり説明を聞き、自分で選ぶ



インフォームド・コンセント

①

自分らしく生きる

ためにがんへの向き合い方を考える

③ がんの進行と自覚症状が出るまで




自覚症状の出現

③ Q 自覚症状が出る前にがんを見つける方法は何だろう

症状がなくても検診を受ける

がんは大きくなるまで自覚症状がありません



② それぞれの分野の専門家がチームで患者とその家族を支援



緩和ケア

# がん教育

組 番 氏名

---

テーマ : がんと付き合いながら健康的な生涯を送るには？

◎各グループの発表

	テーマ	新しく得た情報 キーワード	疑問点 さらに知りたいこと
班			
班			
班			
班			

最後に、、、

がんと付き合いながら健康的な生涯を送るには？

将来、がんとどういう付き合い方をするのか自分の考えを書こう

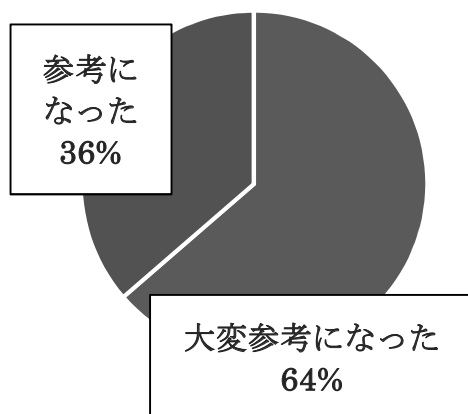

## 令和5年度がん教育授業研究会（県立吹上秋桜高等学校）アンケート結果

【本日の授業研究会の内容について】参加者総数25名（一般13・来賓等10・会場校2）

	大変参考になった	参考になった	どちらでもない	参考にならなかった
一般参加者（提出11名）	7	4	0	0

※一般参加者11名の内訳：教諭10、養護教諭1

### 高等学校授業研究会



#### ○授業研究会（公開授業・研究協議等）について ※一部抜粋

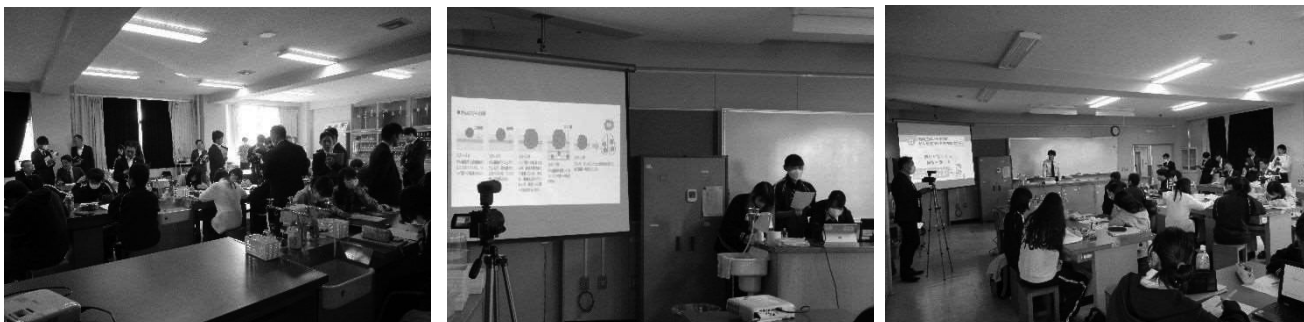
- ・プレゼンにより、主体的・対話的・深い学びとなっていました。がんは、生徒達にとっては少し他人事のように感じる場所もあるので、知識をアウトプットさせるのは非常に有効に感じた。導入で、ねらいをスクリーンで示したことも主体性を引き出している。各班のプレゼン後に、用意したスライドを使い、フィードバックを行う等、丁寧な指導が生徒との信頼関係を築くことにつながっていると思いました。（高等学校・教諭）
- ・生徒の実態に合った授業をご提案いただき、ありがとうございました。グループの発表の中で、保険について発表しているところがあり、中学生とは違う高校生らしい視点であると感じました。（中学校・養護教諭）
- ・生徒が発表して終わりではなく、先生がスライドを使ってその班の補足とキーワードでまとめていたのが分かりやすく良かったです。（高等学校・教諭）
- ・「がん」という身近な病気を扱う上で、留意する部分が多く、大変勉強になった。配慮という面で、その場だけでなく、日常生活から信頼関係を築いていくことが大切だと学んだ。（高等学校・教諭）
- ・授業の中で配慮が必要な子に対しての気配りが見え、全員ができることを積極的に実践していた。（高等学校・教諭）
- ・生徒がスムーズに話し合っている姿に驚きました。先生の日頃からの丁寧な指導の成果だと思います。生徒から発展的な意見も出てきていたので、現代社会の健康課題をしっかりと理解していることが分かりました。（高等学校・教諭）
- ・生徒にがんの原因・予防・治療などを各視点でグループごとに調べ、まとめたものをプレゼンさせることで、より知識等の定着につながると思った。また、がんステージの覚え方を「ひきにくです」と最近流行りの言葉で語呂合わせにするというような生徒ならではの発想もあり、いいと思った。（高等学校・教諭）



### 【がん教育についての提案、意見、感想等】 ※一部抜粋

- ・今回の話し合いで、がん検診に行っていない人が多いから、生徒が本当に20歳になったときに「がん検診」に行こうと重く受け止められるように指導をしていかなければならないと思いました。(高等学校・教諭)
- ・がん教育は扱いが難しい單元だと思います。しかし、知ろうとしないと、がんと向き合えない。今日のスライドのように、楽しく学ぶことも1つだと思います。(高等学校・教諭)
- ・「がん」という病気について、生徒自身が調べ、調べたことを分かりやすくまとめ、まとめたことを工夫を凝らして発表するということが、有意義なものになっていると感じた。(高等学校・教諭)
- ・「がん」と聞くと、多くの生徒は「がんになると死んでしまう」というようなイメージを持っていることがほとんどだと感じている。そのため、授業をはじめとするがん教育において、生徒にどうやって興味・関心を持たせるか、卒業後など今後の人生において活かすことができるかについての工夫を考えていく必要があると思う。(高等学校・教諭)
- ・がんは、子供たちにとって自分ごとのように考えるのが難しい分野だと感じています。また、専門用語であったり、内容が難しく入りづらいと思います。そこで、身近な話題や ICT を活用して、動画などの活用をしていければと思います。全校など、大きな単位でがん教育ウィークなどを設定することで、生徒たちは学びを深めることができるのではないかと思います。(特別支援学校・教諭)

### 【授業の様子】



### 【全体会・研究協議の様子】



## IV 令和5年度 埼玉県がん教育推進連絡協議会

### 令和5年度埼玉県がん教育推進連絡協議会 設置要綱

#### (設置)

第1条 学校におけるがん教育の充実を図るため、「がん教育推進連絡協議会」(以下「協議会」という。)を設置する。

#### (事業)

第2条 協議会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) がん教育総合支援事業を推進するための支援体制の協議、検討
- (2) がん教育総合支援事業を推進するために係るその他の取組

#### (組織)

第3条 協議会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

- 2 協議会に委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部参事兼保健体育課長をもって充てる。
- 3 協議会に副委員長を置き、委員の中から互選する。

#### (運営)

第4条 委員長は、協議会を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

#### (任期)

第5条 委員の任期は、令和6年2月29日までとする。

#### (会議)

第6条 委員長は、協議会を招集し、議長を務めるものとする。

- 2 委員長が必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

#### (事務局)

第7条 協議会は、会務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

#### (経費)

第8条 協議会の経費は文部科学省から交付される委託経費をもって充てる。

#### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

#### 附 則

この要綱は、令和5年6月12日から施行する。

#### 附 則

この要綱は、令和6年1月12日から施行する。

別 表（第3条関係） 委員

学識経験者
医師
がん経験者
薬剤師
校長
養護教諭
疾病対策課副課長
保健体育課長

# 令和5年度 埼玉県がん教育総合支援事業（がん教育推進計画）

## （文部科学省委託事業 がん教育等外部講師連携支援事業）

### 背景

- 平成28年12月に改正されたがん対策基本法第23条では、「国及び地方公共団体は、がんに関する知識及びがん患者に関する理解を深めることができるよう、学校教育及び社会教育におけるがんに関する教育の推進のために必要な施策を講ずるものとする。」というがんに関する教育の推進についての文言が新たに記載された。
- がん対策推進基本計画では、「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」ことを目標としている。
- 学習指導要領の改訂に伴い、中学校及び高等学校の保健体育科において、がんについても取り扱うこととされ、新学習指導要領に対応したがん教育の実施について検討する必要がある。

- 年間約37万人以上の国民ががんで死亡している。
- 埼玉県のがん検診受診率が50%未満である。

### 課題

- がんについての正しい知識やがん患者に対する理解が不十分
- 教材や外部講師を活用した指導の在り方、方法等の充実が必要

そこで、

**がん教育に関する計画を作成し、作成した計画に基づき、がん教育に関する多様な取組を実施することにより、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。**

## がん教育推進連絡協議会

- 新学習指導要領に対応したがん教育に関する計画作成について指導・助言をする。  
（・教科等、授業展開方法の検討 ・外部講師の活用体制の整備 ・関連機関との連携等）
- 取組結果について、成果を検証する。  
※がん教育推進連絡協議会に報告された実施結果を冊子にまとめ、県内の市町村教育委員会、小・中学校、県立学校等へ配布

【授業検討部会を含む構成員】  
学校関係者（校長・教諭・養護教諭）、医療機関関係者（医師・薬剤師等）、学識経験者、がん経験者、行政関係者等

## がん教育指導者研修会

- がん教育を推進していく教職員・外部講師を対象とした「がん教育指導者研修会」を開催し、効果的ながん教育の在り方についての研修を行う。

## がん教育授業研究会

- 小学校、中学校及び高等学校において、授業公開による授業モデルの普及及び研究協議における効果的な指導方法についての検討を行う。



**健康と命の大切さについて学ぶことを通して、自らの健康を適切に管理し改善していく資質・能力を育成する。がんに対する正しい知識とがん患者への正しい理解及び命の大切さに対する認識を深める。**

令和5年度 埼玉県がん教育総合支援事業 がん教育推進連絡協議会 名簿

	推薦団体・推薦関係課・教育委員会	氏名	職名	所属
1	埼玉大学	七木田 文彦	准 教 授	埼玉大学教育学部
2	一般社団法人埼玉県医師会	登坂 英明	医 師	埼玉県医師会
3	がん専門医	儀賀 理暁	教 授	埼玉医科大学総合医療センター
4	がん経験者	栗原 和江	代 表 理 事	NPO法人くまがやピンクリボンの会
5	一般社団法人埼玉県病院薬剤師会	佐野 元彦	教 授	星薬科大学実務教育研究部門
6	埼玉県公立小学校校長会	小松 薫樹	校 長	草加市立草加小学校
7	埼玉県中学校校長会	今村 美己	校 長	熊谷市立玉井中学校
8	埼玉県高等学校長協会	齋藤 明博	校 長	県立浦和東高等学校
9	埼玉県養護教諭会（小学校）	長谷川 紀子	養 護 教 諭	熊谷市立奈良小学校
10	埼玉県養護教諭会（中学校）	川嶋 紅音	養 護 教 諭	上尾市立大石中学校
11	埼玉県養護教諭会（高等学校）	工藤 由未	養 護 教 諭	県立蕨高等学校
12	埼玉県養護教諭会（特別支援学校）	津久井 未緒	養 護 教 諭	県立東松山特別支援学校
13	県保健医療部疾病対策課	矢島 彰人	副 課 長	県保健医療部疾病対策課
14	県立学校部保健体育課	松中 直司	参 事 兼 課 長	県教育局県立学校部保健体育課

令和5年度 埼玉県がん教育総合支援事業 がん教育授業検討部会 名簿

各校種における具体的ながん教育の授業を検討し、授業研究会を開催する。

	推薦団体・推薦関係課・教育委員会	氏名	職名	所属
①	埼玉大学	七木田 文彦	准 教 授	埼玉大学教育学部
②	がん専門医	儀賀 理暁	教 授	埼玉医科大学総合医療センター
③	埼玉県公立小学校校長会	小松 薫樹	校 長	草加市立草加小学校
④	埼玉県中学校校長会	今村 美己	校 長	熊谷市立玉井中学校
⑤	埼玉県高等学校長協会	齋藤 明博	校 長	県立浦和東高等学校
⑥	埼玉県小学校体育連盟	栗田 颯	教 諭	深谷市立上柴西小学校
⑦	埼玉県中学校体育連盟	赤木 昂介	教 諭	川口市立小谷場中学校
⑧	埼玉県高等学校保健体育研究会	大屋 将人	教 諭	県立草加高等学校
⑨	埼玉県養護教諭会（小学校）	長谷川 紀子	養 護 教 諭	熊谷市立奈良小学校
⑩	埼玉県養護教諭会（中学校）	川嶋 紅音	養 護 教 諭	上尾市立大石中学校
⑪	埼玉県養護教諭会（高等学校）	工藤 由未	養 護 教 諭	県立蕨高等学校
⑫	埼玉県養護教諭会（特別支援学校）	津久井 未緒	養 護 教 諭	県立東松山特別支援学校
⑬	授業研究校代表（小学校）	関谷 淳	指導主事兼保健給食係長	熊谷市教育委員会教育総務課
⑭	授業研究校代表（中学校）	原 健史	指 導 主 事	越生町教育委員会学務課
⑮	授業研究校代表（高等学校）	藤井 将貴	教 諭	県立吹上秋桜高等学校

事務局

1	事務局	遠井 学	主任指導主事	県教育局県立学校部保健体育課
2	事務局	脇田 一亮	主 幹	県教育局県立学校部保健体育課
3	事務局	龍野 雅美	指 導 主 事	県教育局県立学校部保健体育課
4	事務局	坂上 三四郎	指 導 主 事	県教育局県立学校部保健体育課

令和5年度埼玉県「がん教育総合支援事業」実施報告書

埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	松中 直司
教育指導幹事	大松 武晴
主任指導主事	遠井 学
主幹	脇田 一亮
主査	峰岸 宏次
指導主事	澤村 文香
指導主事	龍野 雅美
指導主事	坂上三四郎
主事	金井 孝太

令和6年2月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」